

御宿

O N J U K U

平成11年

町勢
特集号



1999 第434号

千葉県御宿町役場



夢多
い
郷里ふるさとづくりを

『夢多い郷里・御宿』の 創造に向けて



御宿町長 加藤 長

生活基盤の整備を重点的に推進

新しい年。二千年を迎えるにあたり、今改めて一年の締めくくりとして、町政運営の基本的考えと施策の取り組みについて申し上げます。

昨年申し上げましたが、自治体の財政を取り巻く環境は、好転どころか一年前よりむしろ厳しくなっていると認識しております。

景気が底離れしたという説もありますが、都会と地方ではタイムラグがあり、景況感には必然的に温度差があることには変わりありません。

このような状況化で、まず最初に取り組まなくてはならない施策は、環境問題です。私は、かねがね御宿の貴重な自然を後世に残す意味でも、ミヤコタナゴを保存し、周辺地域を自然学園村、ふるさと自然塾という構想のもとに、地域の活性化を計ろうと考えます。

今一点は、ダイオキシンの削減対策が緊急の課題であり、町民の不安解消と、健康管理

の面から、平成一四年の厚生省ガイドラインをクリアしなければなりません。そのため年内には、はっきりとした方向づけをし、年明けから改修工事に着手できるような努力をする所存です。この手法の一つとして再三申し述べておりますように、PFI方式（民間資金と技術ノウハウを活用する方式）で取り組んでいく所存です。

次に、火葬場改修問題は、候補用地が二転、三転しましたが、B&G海洋センター後背地が適地である旨、諮問委員会の賛同が得られましたので、早急に設計作業に取り組み、十二年〜一三年度を目途に住民ニーズに合った施設として整備を考えていきたいと思えます。

次に、路線バス廃止を前提として、町独自の「町民の足」確保のため、十二月から試行しながら、よりよい方策を考えていきたいと思えます。

次に、JR御宿駅舎の橋上

屋根の改修について、JR千葉支社をはじめ、民間開発業者とも鋭意折衝にあたり、前向きな取り組みが出来るところまで話しが進んでおり、最後のツメを早くし、利用者の不便解消に資したいと考えます。

次に、谷内六郎記念館と図書館の整備についてですが、関係者のご好意により、作品寄贈について前向きな発言をいただいておりますと共に、町民の皆さんの希望の多い図書館の併設を考慮し、年内にプロポーサル方式により、設計業者の選定にこぎつけたと考えてます。

次に、教育施設については、中学校を最優先に考え、整備と併せ、将来に禍根を残さないよう、小学校との統合、集約化も視野に、今後検討を重ねていきたいと考えてます。

次に、公共用地の先行取得については、県立スポーツ施設や独居老人福祉施設整備のため、また、物産センター設置による地域産業活性化のためなど、将来の布石として、用地取得を積極的に展開しているとあります。



これら諸々の施設整備を開する受け皿として、将来はふるさと産品の育成や販路の拡大、有料公共施設の機動的運営・管理、イベントの企画、観光情報の発進を視野に展開を計っていく方針です。

次に、私たち祖先が築き上げてきた、この素晴らしい「御宿」、天与の恵まれた自然景観、これら町の固有の財産に更に磨きをかけ、住みやすく、安らぎや誇りを感じる町、「夢多い郷土・御宿」の創造に向けて、今、手づくりの町基本構想づくりに着手しました。二十一世紀に誇れる町づくりは、町民との共同作業が欠かせない要素であります。一方、その仕掛けをする職員は、常に前向きに積極的に仕事に取り組む。慣習や硬直化、悪しき前例は打破し、新しい物へ積極的に挑戦する職員。常に住民の立場に立って、住民の目の高さで対応できる柔軟性のある職員として、研さんを積むことを目標とし、町民の期待に応えていける職場を作り上げることに取り組んでいきたいと考えます。

—はつじゅう—

一九九九年の最後をかざる町勢特集号を発行します。この特集号は、町政の一年間の歩みと新たな年である二千年での方針を統計調査とともに編集し、皆さんにお知らせするものです。

目次

- 行政報告 2・3
- 平成11年町の動き 3
- 行政全般 4
- 保健・福祉 6
- 農林業 7
- 水産業・商工業・観光 8・9
- 環境・建設 9
- 教育 10~12
- 公民館 12
- B & G海洋センター・消防・水道事業 13
- 資料編 14
- 御宿町暮らしのダイジェスト 32
- 御宿の歌 33
- 町内の官公署・団体施設一覧 34

平成十一年 町の動き

一月

- 四日 新年祝賀式
- 七日 消防団出初め式
- 十日 成人式
- 十五日 道祖神祭り見学ツアー

二月

- 七日~九日 冬期海と山の子交流
- 二日 故加藤ヨシコさんを送る会

三月

- 十七日 国の地域振興券受給
- 二八日 お魚ウィークス&月の沙漠童謡大会

四月

- 二日 保育所入園式
- 五日 小学校入学式
- 六日 中学校入学式
- 十一日 県議会議員選挙
- 二八日 第一回定例議会

五月

- 九日 消防団統一訓練
- 十九日 町民チャリティゴルフ大会
- 二十日 町単独振興券申請受付開始
- 三十日~三十一日 町民号

六月

- 九日 第二回定例議会
- 十四日~二五日 介護保険地区別説明会
- 二七日 夷隅支部消防操法大会

七月

- 四日 海開き
- 十一日 ウォーターパーク開設
- 二四日~三一日 メキシコ少年野球団来町

二月

- 二五日~二七日 夏期海と山の子交流会
- 三十日 岩和田トイレ完成

八月

- 五日 花火大会
- 十八日~二七日 中学校海外研修
- 二二日~二三日 ピーチバレームーンカップイン御宿
- 姉妹都市青年交流サマーカーニバル

九月

- 一日 防災訓練
- 五日 敬老会
- 八日 第三回定例議会
- 十九日 町議会議員選挙

十月

- 七日 臨時議会
- 十日 議長に貝塚嘉祐氏
- 十六日 町民体育大会
- 十八日~十七日 ムーンライトコンサート
- 全日本ライフセービング選手権大会

十一月

- 三日 文化祭
- 十二日 合同七つ子祭
- 十九日 日本沙漠学会シンポジウム開催
- 住民アンケートを実施

十二月

- 一日 防災緊急放送体制スタート
- 四日 防火デー
- 八日 第四回定例議会
- 三十一日 渚の火祭り

行政全般

二十一世紀初頭を見通した
住みよい豊かなまちづくりの実現に向けて

町では、御宿町基本構想の具体化を図るため、平成十一年度から平成十三年度を最終年度とする「三ヶ年実施計画」を策定し、効果的、効率的に町づくりを展開しています。

二十一世紀を見通して、御宿町の町づくりの目標である「住みよい豊かなまちづくり」の実現を目指し、次の六つの柱を基本に進めていくものです。

一、基礎的條件の整備

(土地利用と都市計画)

一、基礎的條件の整備

(土地利用と都市計画)

二、教育文化の向上

(教育施設の整備)

三、福祉、医療の充実

(高齢者対策及び福祉施設の整備)

(高齢者対策及び福祉施設の整備)

四、産業の振興

(産業の活性化の推進)

五、生活環境の整備

(快適な居住空間の整備)

六、行政近代化と効率的運営

(電算システム導入による行政事務の改善)

町では、美しい自然環境と産業との調和を図りながら、地域振興を推進してきました。また、町の健全な発展と秩序ある整備を図るため、騒音や日照障害、景観阻害など様々な都市問題を抑制するとともに、町の歴史や文化などの地域特性を活かした住みよい住環境づくりに取り組んでいます。

それに伴い今年度は、都市マスタープラン策定の最終年度として、町全域からの視点でとらえた全体構想案と、地域の現状と問題点から考えた

地域別構想案をどう実現化していくかの方策を検討及び取りまとめの作業を進めています。今後は、各種調査と都市計画原案に着手して都市計画の早期導入を図り、適正な開発、建築行為などにより、皆さんが快適で住みやすい空間(まち)を創造していきます。

二、教育文化の向上

(教育施設の整備)

次代を担う子どもたちの「生きる力」を育みながら、心豊かなたくましい人間性を育成する教育を推進してきました。生涯を通して、いつでもだれでも学習できる生涯教育の

基礎づくりを目指すとともに、子どもたちの個性や夢を育んでいける学習環境の充実に向けて取り組んできました。

さらに、コンピュータやインターネットなどの情報教育機器を、より効率的に活用するため、教職員の技術向上を支援するサポート体制の充実や国際化社会に対応するため、中学生の海外派遣事業など継続的に実施しております。

施設整備については、教育施設建設委員会を設置し、学校建設に向けて検討を進めています。

その他、自然・環境教育の重要性が高まる中、国の天然記念物である「ミヤコタナゴ」



子どもの夢や個性を育ていける保育を推進し、よりよい環境づくりに努めてきました。(岩和田保育所ドロンコ遊びでの風景)

を、地域住民の協力とともに、いかに保護・活用するかという目的で保護委員会を設置しました。

現在、役場二階ロビーと布施小学校で展示して、広く住民の方々に公開し、地域の活性化につながる計画づくりを進めています。

三、福祉、医療の充実

(高齢者対策及び福祉施設の整備)

今年度は、住民の方々に、より密着した事業を展開できるように、保健事業の増員を図りました。

成人保健事業につきましては、健康教育や健康相談の充実を図り、各種検診の受診率向上のため、全ての検診を土曜日にも実施しました。

在宅療養者に対しては、医療・福祉関係機関との連携を深め、充実した支援体制を図ってきました。

福祉事業の中で児童保育は、健康でのびのびと遊べる環境づくりを推進し、また、保育所では、乳児保育、時間外保育を実施してきました。



農林水産業については、農道、林道、漁港整備などの基盤整備を計画的に実施するほか、磯根資源育成のため、継続的にアワビの稚貝やヒラメの稚魚などの種苗放流に取り組んできました。

四、産業の振興

(産業の活性化の推進)

老人福祉は、在宅福祉サービスの充実を図るため、四月から「デイ・サービス事業」を開始し、在宅介護者に対する支援の強化を図りました。障害福祉は、重度障害者に対する医療費助成や福祉タクシー券の交付を行い、経済的支援や障害者の社会参加を推進してきました。



体の不自由な方にも、安心して使用できる岩和田公衆トイレ。人にやさしい施設づくりを実施しました。

町独自の振興券の発行と同様、商店振興会発行によるプレミアム付き共通発行券の発行は、町の活性化につながりました。

今後は、資源管理型漁業をより一層推進するとともに、環境保護に努めながら、漁業経営の安定を図っていきます。農業については、農業振興の推進のほか、転作水田を活用した花の町づくり事業や米づくりを体験するふれあい農業を実施してきました。また、中山間総合整備事業の導入に向けた検討を行っています。

商品券に対する補助を実施、さらには、より一層の町の発展のため、「御宿まちづくり会社」設立に向けての調査を行っています。観光においては、町の財産である恵まれた自然や月の沙漠を、県内外の人々を対象に、観光協会の協力のもとキャンペーンを実施してきました。また、訪れた観光客が快適に過ごせるよう、岩和田公衆トイレの新設、さらに、町内案内サイン整備など観光施設整備の充実を図りました。

五、生活環境の整備

(快適な居住空間の整備)

町では、廃棄物の減量化、天然資源の消費削減等、環境保全のため、容器包装リサイクル法にさきがけて分別収集の徹底化を図ってきました。今後においても、積極的に分別リサイクルに取り組み、住民、事業者と役割を分担し、一体となって分別排出・分別収集のシステムを確立し、維持していきたいと思えます。防災面では、岩和田、新町地区に続き、須賀地区の自主

災害に強い町づくりを目指して、積極的に防災訓練に取り組んできました。



避難場所位置図や避難誘導標識の設置により、防災施設整備の充実を図りました。

防災組織の発足や耐震防火水槽の計画的な設置、飲料水等の備蓄品の確保等、災害に強い町づくりを推進してきました。また、交通安全対策としては、危険個所の現地診断による緊急対応、交通安全条例の制定や安全教育の開催による交通安全思想の徹底、さらには、道路交通法の改正にあわせたチャイルドシートベルト購入に対する補助制度の創設等、積極的に取り組んでいきます。

六、行政近代化と効率的運営

(電算システム導入による行政事務の改善)

情報化社会の進展に伴い、平成九年度から開始しました町のインターネットサービスには、現在、三百名の方が登録され、様々な分野で活用されています。また、行政事務の効率・迅速化を図るため、庁内LANを含めた電算システムの導入を検討していきます。さらに、行政への住民参加と行政の説明責任をより明らかにするため、平成十三年度の施行を目指した情報公開条例の制定について、「情報公開制度住民懇談会」において審議を進めていきます。



保健・福祉

充実した
生活支援事業を展開

介護保険の導入を前に、寝たきりや介護の問題が様々な形で取り上げられ、注目を集めています。

高齢者の割合が人口の三十%を占める御宿町では、一人暮らしや高齢者だけの世帯も多く、これらの問題に加え、健康管理や生活支援の必要性も高まっています。

一方、子どもの数は減少しており、地域の中で子どもや母親が交流する機会が減っています。特に、乳幼児を持つ母親は、子どもの健康や子育てについて、情報交換や相談する仲間が見つけにくくなっています。

今年度は、こうした状況に対応しながら、住民の皆さんがいつまでも健康で、生き生きとした毎日を過ごせるよう、保健と福祉が協力し合っって様々な活動を展開してきました。

介護保険

高齢者の自立した生活の実現と介護の充実に向けて

昨年度実施した「高齢者実態調査」の結果をもとに、今年度も引き続き「介護保険事業計画策定」を「新・老人保健福祉計画」の策定とあわせて行っています。

また、介護保険法の来年度四月一日の施行を前に、九月か



気軽に健康相談できるそんな環境づくりを目指してきました。

ら「準備要介護認定」のための申請受付、訪問調査を開始し、十月からは夷隅郡市広域市町村圏事務組合に設置された介護認定審査会において審査を行っています。

今後も、保健衛生係や福祉係との連携を図りながら高齢者の自立した生活の実現と介護の充実に向けての体制整備を図っていきます。

保健

積極的な健康づくりを目指して

四月からの保健婦増員により、在宅療養者や妊産婦、新生児への訪問活動に力を入れてきました。家庭における療養や介護、育児の指導にとどまらず、地域での保健、福祉活動につながるような働きかけを心がけています。

また、異常を早期に発見し、積極的な健康づくり役に役立てていただくため、各種検診の充実を努めました。

さらに、今年度からは、多くの方が受診しやすいよう、すべての検診を土曜日にも実施し、次年度からは、乳がん

検診にマンモグラフィ（レントゲン検査）の導入を計画しています。

乳幼児医療費助成制度においては、対象層を就学前まで拡大し、経済面からの育児支援を強化してきました。

高齢者福祉

高齢者福祉は、在宅福祉サービスの三本柱の一つといわれる「デイ・サービス（日帰り介護）事業」を、平成十一年四月からスタートさせ、自宅で寝たきりや痴呆性高齢者を介護している方々にとっての介護支援体制の強化へとつなげることができました。

今後は、介護保険の施行を踏まえ、高齢者が要介護状態に陥らないために「介護予防」という観点から、保健事業との連携を深めながら、高齢者の生きがいづくりや社会参加の支援を進めていきます。

児童福祉

少子化や核家族化が進んで

いる中、母子家庭も増加傾向にあることから、より充実した子育て支援を目的に、岩和田保育所では、四月から乳児保育と時間外保育をスタートさせ、また、児童館では未就園児の母親のふれあい事業として、「のびのび教室」からさらに新たな事業として、「スクスククラブ」が発足しました。

児童の遊び場や地域との関わりが少ない状況の中で、児童館の有効的な活用ができるよう、施設整備を図り、子育て支援の推進をしていきます。

障害福祉

障害福祉は、身体障害者手帳の所持者が年々増加する中、住み慣れた家での生活ができるよう、手すりやスロープ等の補助用具、また、福祉タクシー券の給付事業など支援をしてきました。

今後も、障害者の方々が社会参加しやすい事業の実施を進めていきます。

農林業

魅力あふれる 農業の振興

平成十年度における水稲の作況指数は天候にも恵まれ一〇四％（全国一〇一％）と昨年を上回る収穫となりました。

また、米の出荷でコシヒカリの一等に占める割合は、八四％と前年度を上回ることができ、適切な病害虫防除ができました。

本年度の転作事業については、目標面積八五・六haと昨年度と面積の増減はありませんでしたが、農家の皆様の計画的な作付けにより一〇〇％

以上の達成率が見込まれております。

「花のまちづくり事業」として、駅裏休耕水田二・〇haに、景観形成を目的とした、菜の花の植栽を行いました。現在も春の訪れを待ち、順調に成長しております。

ふれあい農業では、町内小学生による田植え、稲刈りや体験し秋には収穫祭が行われるなど、農業体験を通じてお米の大切さについて学習しました。



幕張メッセで行われた「食メッセちば'99」では夷隅の花である「スプレーストック」を無料配布し、農業振興を図りました。

花き生産組合では、「いすみの花」としてスプレーストックの産地化に向けて経営面積の規模拡大や栽培技術の向上、さらに、安定した農業所得の確保に努めてきました。

今後は、生産体制の基盤づくりをさらに推進するとともに大型流通の産地評価の向上や、多様化する消費ニーズに対応できる流通、販売体制の整備に取り組んでいきます。

畜産業では、夷隅乳牛共進会への出品や家畜伝染病予防対策を行なうなど、安全で品質の良い畜産物の生産に取り組んできました。

また、平成九年度から公社牧場設置事業として合理的な経営を図り、規模拡大による安定した畜産所得の向上を推進しています。

畜産環境への関心が高まる中、畜産環境整備への取り組みについても積極的に検討していきます。

活力ある 農村地域に向けて

二十一世紀に向けて食料の安定供給と農業・農村の持続

的發展をめざした「食料・農業・農村基本法」が制定されました。

施策については、食料自給率の向上、農地の確保と有効利用、経営発展のための条件整備を柱に活力と魅力あふれる農業・農村の確立を図るものです。

当町においても、この制度を受けて、今後も地域の実情に合わせて補助事業を有効的に活用して、農業振興事業に取り組んでいきます。

また、基盤整備が未整備となっている七本、実谷、立山地区への中山間総合整備業の導入に向け、地元地区で説明会を行い、事業実施の検討を行なっています。

この事業は、農地の基盤整備と地区の生活環境整備を合わせて実施するもので、同時に活性化計画の策定が行なわれます。

さらに農地情報管理システムの導入により、貸し手と借り手の要望を連携させ後継者問題等による不耕作地の増加防止や、遊休農地の有効利用等、流動化を推進してまいります。このシステムは、地図情報



遊林農地の有効活用として「ふれあい農業」を実施しました。

林道・治山

報とともに整備を行なうもので、貸したい農地や借りたい希望条件等を登録することで、条件にあった農地を検索することが可能になります。

災害による、林道の機能回復と土砂崩れによる民家の保全のため、林道、打越線と実谷線の路肩の補修工事を初め、須賀地先の治山工事、高山田地先の治山工事を実施してきてきました。

また、松喰い虫による被害木については、要望による現地の確認後、順次、処理を行なってきました。処理については、農林水産商工課までお問い合わせください。

水産業

磯根資源の保全

つくり育てる漁業の推進

平成十年度は、水揚げの中心となる、カツオやイカの漁獲量が、大きく減少しましたが、市場価格に支えられ、水揚げ高は、ほぼ前年並みとなりました。

主要漁種の漁獲が不安定な状況下において、磯根漁業の資源育成による漁業経営の安定のため、アワビの種苗放流を初めイセエビやサザエの再放流を実施してきました。

平成十一年度は、御宿町漁協、岩和田漁協において総量で、五〇〇キログラムのアワビの種苗を放流し、釣り漁業

の中心的な魚種であるヒラメについても、千葉県水産振興公社によるヒラメの稚魚を七月三十日に一万五千匹放流しました。

定期的な放流を継続的に実施することにより、作り育てる漁業の育成を推進し、安定した水揚げの確保が期待されます。

また、漁港整備事業といったしまして、御宿漁港及び岩和田漁港の港内安全確保のため、浚渫工事を実施するとともに、岩和田漁港においては、荒天時の港内の安全のために、局



恵まれた磯根環境の保全に努め、つくり育てる漁業を推進してきました。

部改良事業として、平成十二年度と二カ年で、西防波堤の高上げ工事及び消波工の設置工事を行ないます。

この他にも、漁業近代化資金利子補給事業や、漁獲共済に対する補助事業を実施し、漁業者の経営の安定を図るとともに、栽培漁業を推進する夷隅地域栽培漁業推進協議会等に対する支援を行なってきました。

商工業 町独自の振興券の発行で地域経済の活性化

景気の低迷が続く中、町では、六月に内需拡大と商店の活性化を図るために、国の地域振興券の交付対象外の方に、町単独の地域振興券を交付しました。

この地域振興券は、一人一万円が交付され、交付総額は、五、七三九万円となり、町内の小売商店を中心に利用されました。

また、九月には、商店振興会発行のプレミアム付商品券が発行され、完売後、引き続き商品券が発行されています。

商工会によるイベント「御宿まるごとミュージアム」も通年で開催され、御宿を訪れる人々の目を楽しませてきました。このイベントには、魅力ある地域づくり推進事業助成制度が活用されています。今後町では、商業の活性化を、商工会と連携を取り積極的に推進していきます。

観光 房総の観光拠点を目標して 多様化するニーズに積極的に対応

昨年は、メキシコ塔建立七十周年記念事業やアカブルコ姉妹都市提携二十周年記念式典が開催され、御宿とメキシコとの友好関係を、より一層深めることができました。

今年度は、住民や観光客にあらためて「月の沙漠おんじゆく」を認識してもらおうと、童謡大会をはじめ、ムーンライトコンサートなどを実施し、御宿の文化を振り返ることができました。

また、観光客の受入れ体制整備といったしまして、記念館前公衆トイレ及び浜公衆トイレ



町内十箇所に観光案内サイン看板を整備し、充実した施設整備を進めてきました。

レに続き、岩和田公衆トイレの整備を実施しました。さらに、町内各所に案内サイン看板を十ヶ所設置し、観光客を安全に目的の地まで誘導できるよう整備しました。

今年の夏は、晴天に恵まれましたが、海水浴客の入込みは、昨年と比べ、五%減少し、五十三万八百五十人となりました。

海水浴の入込み数は減少したものの、花火大会やビーチバレー大会、ライフセイビング選手権大会など充実したイベントの実施により、全体的



な観光客の入込みの増加を指
向しました。

情報化社会の進展に伴い、
観光客の余暇に対する選択幅
が広がり、また、多様化する
ニーズに対応するため、今後
も房総の観光拠点となる「御
宿」を目指していきます。

二千年を期に、御宿の恵ま
れた自然環境と、商業や農漁

環境

限りある資源の活用

家庭から始められる

ゴミの分別化

リサイクルステーションを
設置して九カ月が経過し、住
民の皆様のご協力によりリサ
イクル品の出し方やマナーも
徐々に良くなってきています。
西暦二千年を迎えるにあた
り、今後ますますリサイクル
が重要となります。

リサイクル推進は、ゴミの
量を減らし、限りある資源を
有効に利用することによりま
す。

また、リサイクルして再商
品化した製品の利用を心がけ
ていただきたいと思います。

リサイクルの基本は、「も

業、観光産業との調和を図り
ながら、より一層の美しい自
然あふれる町づくりを目指し
ていきます。



つたない」です。この言葉
をキーワードとして、これか
らの二十一世紀は、出した資
源が再生されて、再び私たち
の元へ戻ってくる「循環型社
会」の構築を目指していくこ
とが重要です。

この循環型社会の第一歩が
皆さんのご家庭から、資源を
分けて出すことが大切なこと
となります。

御宿町では、循環型社会の
構築を目標に、事業を推進し
ていきますので、住民の皆さ
んのご協力をお願いいたしま
す。

建設

生活関連事業を重点的に

日常生活の

利便性向上に向けて

快適な住宅空間の整備を目
標として、新たに作成いたし
ました平成十一年度から平成
十三年度御宿町実施計画を基
とするほかに、地域からの要
望箇所や緊急性の高い所を計
画的に事業を実施してきまし
た。

本年度の主要事業といたし
ましては、国庫補助事業01

09号線(小池・岩和田)道
路改良工事、県費補助事業0
105号線(庁舎入口)道路
改良工事・0106号線(実
谷・部原)緊急交通安全対策
助成工事を実施しました。

また、老朽化の著しかった
町営富士浦住宅建て替え工事
もようやく本年度で五棟十戸
が完成し、困窮度の高い方々

を優先的に入居決定をしてき
ました。

町単独事業としては、雨
水・生活排水施設として排水
整備十箇所、路面の著しく傷
んでいる箇所及び未舗装路線
の舗装七箇所を整備しました。
長期的計画としては、道路
一箇所・河川一箇所の計画を
予定しています。

今後は、生徒・歩行者の安
全確保のため、主要な通学路
として利用されている020
2号線(中学校脇)道路改良
工事の交差点改良調査等を行
い、現道拡幅を行う予定です。

また、河川整備事業として、
普通河川清水川河川整備の基
礎資料作成のため、地形測量
を本年度から継続的に実施し、
洪水対策や景観等に配慮した
河川環境整備を計画していく
予定です。

その他県道の改良工事・
急傾斜地崩壊対策工事等を継
続的に要望実施しています。
二十一世紀の第一歩を向か
え、快適な住宅空間の整備を
推進するためにも地域住民や
地権者の皆様のご理解ご協力
をお願いします。



住民の生活関連道路として整備した
2035線。生活環境づくりの充実
を図ってきました。



九月に全棟完成した町営富士浦住宅。

教育 心豊かな児童生徒の 育成と生涯教育の充実

教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針を定め、その方針に基づいた次の教育目標にそって各種施策を推進してきました。

◎二一世紀を担う児童(生徒)の「生きる力」を育み、心豊かなたくましい人間性を育成する学校教育を推進する。
◎町民一人ひとりが生涯を通して、いつでも誰でも学習できる生涯教育を目指し、その環境や内容の充実を図り、香り高い町民文化の創造と発展に努める。

情報教育の環境充実

パソコン・
インターネットの活用

学校教育では、小・中学校へインターネットの専用電話回線を接続し、今年度は、情報教育機器をより効果的に活用するために、情報教育の環境づくりに取り組みました。学



情報教育の環境づくりに、積極的に取り組んできました。

校での有効な活用が図られるよう技術支援や先生方の研修などの支援体制の充実を図ってきました。

また、国際理解教育として、外国青年(英語指導助手)招致事業や中学生の海外派遣事業を継続実施したほか、地域や家庭との連携を深めるふれあい給食や親子ふれあい音楽鑑賞会、さらに、家庭教育学級などを開設し、地域に根ざした開かれた学校の実現に取り組んできました。

この他、国の調査研究事業として、「心の教室」に相談員を配置し、公民館においては、家庭教育相談の開設など相談しやすい環境づくりにも取り組みました。

また、新規事業として、文部省より環境教育モデル市町村として指定を受け、各学校(高校含む)や地域が一体となつて、環境教育事業を進めています。

さらに、心豊かなたくましい子どもの成長を支援するため、今年度から小学校入学祝金(児童一名につき三万円)を支給しました。

学校施設整備の充実については、今年度より教育施設建設委員会を設立し、耐力度調査や先進地の学校施設の視察等を踏まえて、学校建設に向けて検討を進めています。今後は、建設委員会からの答申等、現場や地域の意見を踏まえ、平成十二年度から測量や基本計画の策定などを進め、早期事業の具体化に努めます。また、その期間においては、各学校とも児童生徒の安全面に配慮し、適切な施設改修工事を実施します。

完全学校週五日制に向けての社会教育の推進

(社会教育)

町民の皆さん一人ひとりが、いつでも誰でも学ぶことができる生涯学習を目指し、「親子参加型の講座」や「町民カレッジ」の開設、また、パソコンを使用して、県内の生涯学習の情報提供が可能となるシステムの稼働など社会教育の充実にも努めてきました。

「町民カレッジ」は、幅広い年齢層が参加できるよう教養講座の開設や環境教育の一環として環境講演会を実施するとともに、参加者アンケートを行うことで、より身近で親しまれる内容にと考えています。

文化財保護事業は、ミヤコタナゴを布施小学校と役場で展示・飼育を開始し、また、文化財審議委員会の協力を得て、町内史跡巡りの開催や神楽ばやし等のビデオ保存を進めてきました。

平成一四年度からは、完全週五日制が実施されることから、「子ども地域活動促進事業」として、子どもたちが土



社会教育の一環として実施している、しめ縄づくり体験。

曜日や日曜日を有意義に過ごせるような様々な事業を行います。

また、体育指導委員によるパークゴルフ教室や親子体操教室、さらに親子水泳教室など、親と子どもとのふれあい事業の充実を図っていきます。

今年度から、新規事業として、小学校五年生から中学校三年生を対象に、五泊六日で生活・自然・社会体験といった様々な体験を行うフロンティア アドベンチャー事業を実施しました。体験型の行事については積極的に計画していきます。

今後も、皆さんのご意見やご希望を活かした社会教育・社会体育事業を公民館との連携を取りながら実施していきます。

御宿小学校



子どもたち一人ひとりの豊かな心を育む教育を推進してきました。

は、日々の実践を重ねています。

本年度の主な試みとして「地域教材活用」子どもたちに、身近で興味や関心の高いもの、単元学習に見合った素材を見つけ出し、効果的に地域素材を取り入れてきました。

地域のお世話になっている方々と、ふれあい給食を実施してきました。

御宿小学校では、「心身ともに健康で豊かな人間性を備え、創造力と実行力のある児童の育成を図る。」という教育目標を掲げ、全教育活動を通し、その目標達成に努めてきました。

「学校や友達って、すばらしいね。」

本校の子ども一人ひとりの合言葉として、教育活動を推進しています。

平成九・十年度の二カ年にわたり、人権教育を文部省より研究指定を受け、研究成果を土台として、さらに本年度

算数科におけるティームティーチング
子ども一人ひとりの学習課題に応じることができるよう
に、二人の教師が役割を分担して授業を進めてきました。
三年生から六年生までの子どもたちについては、一人ひとりの実態を把握し、一人の教師の視点からだけでなく、複数の教師の視点から評価す

ることで、子どもたちの長所を様々な角度から発見できました。

今後、子ども一人ひとりの考えをできるだけ尊重し、主体的に活動させることで、学習に対する興味や関心を高めていけるようにします。

また、教科、特別活動、学校生活の活動において、「お互いに良いところを認めていこう。」

「感謝の気持ちを相手に伝えよう。」を根底に、人とのふれあいを広げていけるような活動をしていきます。

教師は、子ども一人ひとりの考えを丁寧に聞き、共感し、温かく見守り、また、支援していくことを心がけていきます。さらに、家庭や地域社会、学校との連携を図りながら、「学校や友達ってすばらしいね」の活動を重ねていきます。

岩和田小学校

今年度は、全校をあげて読書指導に力を入れてきました。本を十冊読む度に、校長先生からミニ賞状をもらえること

も励みとなって、子供たちは意欲的に取組んできました。

青少年赤十字活動にも積極的に取り組む、台風の被災地や台湾大震災への募金活動を行い、義援金を送りました。外房老人ホームの訪問では、子どもなりに工夫して和やかな交流のひとつを過ごしました。

総合的な学習の開発では、昨年度に引き続き、地域のいろいろな方々の協力をいただいて実践を積み重ねてきました。

また、磯で捕まえた生き物を飼ったり、調べたりして生き物博士を目指したり、メキシコのアグアスカリエンテス日本人学校の子どもたちと交流を進めたりしてきました。今後は、地域や学校のことを紹介するビデオレターを作ったり、eメールでの交流を実施する予定です。

こうした活動を通して、子どもたちの夢が大いにひろがっていくことでしょう。

布施小学校

まもなく訪れる二十一世紀

に向け、これからの子どもたちには豊かな人間性や社会性と共に「生きる力」を身につけることが重要となってきます。その一つとして本校では、

体験学習を重視し、「たくましい子、思いやりのある子、よく考える子」を教育目標に掲げ、日々の学校教育を推進してきました。

今年度は、御宿町が夢を育む教育推進地域の指定を受けました。

この推進事業の一環として、武道大学の体育部員やジェフユナイテッド市原の選手を招待して指導を受ける機会を得て、今までにない素晴らしい体験をしました。

校内研修では、今年度から三年間、千葉県教育委員会の指定を受けた体育を取り上げました。一年目の今年度は、児童の変容をとらえるための実態調査、理論研究に始まり、

昨年度から行っているわんぱくタイムを中心としたアスレチック施設の活用やマラソンの日常化で健康づくりや体力づくりに取り組んできました。開かれた学校づくりを目指すため、親子競技や保護者と

のふれあいの場を多くし、今後とも、地域や保護者と一体となった学校づくりを進めていきます。

御宿中学校

御宿中学校では、「新しい時代を担う、健康で知性と徳性を備えた人間性豊かな生徒の育成」を教育目標に掲げ、求める生徒像として次の三つの目標を中心に活動してきました。

一、気配りのできる、思いやりのある生徒

(徳)

二、学ぶ意欲を持ち、考え、正しく判断できる生徒

(知)

三、健康でたくましく、生き生きと生活できる生徒

(体)

本年度は、県から「夢を育む教育推進地域」の指定を受け、また、文部省からは、「環境教育モデル推進市町村」の指定を受け、日々の授業を大切にしながら実践活動を図ってきました。

「夢を育む教育」では、学校外から多彩な講師を招聘し、豊かで多彩な教育活動を展開してきました。教育内容としては、絵手紙の実技指導やア

ナウンサーによる「話し言葉教室」、また、俳句教室、慶応大学ワグネル・ソサエティ鑑賞会、さらに、杉山明美講演会等を開催しました。

環境教育では、今まで積み上げてきた海岸清掃や夏休みリサイクル活動、浅間山祭礼ボランティア活動等を実施してきました。

今後は、日常生活での環境教育の充実や環境教育を理解するための啓蒙学習等も計画し、幅広い環境教育の充実を図っていきます。

このような学習面での活動とともに、運動面でも活発な活動を展開しており、陸上部やテニス部、卓球部は県体大会に出場することができました。

今後も、一人ひとりの良さや可能性を伸ばす活動、地域に根ざした活動、世界を見つめる生徒を育てる活動を推進し、徳・知・体のバランスのとれた生徒の育成を目指していきます。

公民館

公民館を拠点に 様々な活動を展開

公民館では、様々な活動を通して、人づくり、地域づくりを育むことができるように各種教室や講座を開設しています。高齢化社会に対応した学習機会の提供、学校週五日制に伴う児童生徒の余暇利用などは、現在、最も重点的に運営していかねばならない課題です。

本年度は、体育祭や文化祭などの主催事業、絵画や書道などの各教室活動、踊りや社交ダンスなどの自主活動でスタートし、それぞれ活発な活動を展開してきました。

教室活動においては、新規に園芸教室や大正琴教室、日本画教室（一般成人対象）、また、合唱教室（青少年対象）



生涯活動として、充実した余暇を過ごせるよう様々な活動を実施しています。
(公民館の園芸教室での風景)

が加わり、住民のニーズに
応えるよう取り組んで
きました。

さらに、町野球協会の主催による野球大会も、毎年熱戦が繰り広げられ、町の代表的な行事の一つです。

「出会い、ふれあい、学び合い」によって、



秋季野球大会で二連覇した平友バイレーツ。

生きがいを見つけ、豊かな日々を過ごせる仲間が、一人でもたくさんできるような機会の提供や充実した活動を、今後も図っていきます。

「子どもは地域で育ち、地域は子どもで結ばれる。」と言われていきます。町の将来を担う、子どもたちの育成に、学校、家庭、地域の皆さんとの連携を図りながら進めていきます。

公民館が、皆さんの生涯活動や社会教育の拠点として気軽に利用できるよう運営していきます。ご来館とご意見をお待ちしています。



B & G 海洋センター

子どもからお年寄りまで 気軽に参加できる 活動を実施

海洋センターでは、体育館、プール、トレーニングルーム等を活用して、幼児期から中・高齢期まで、それぞれの段階区分に応じた健康運動プログラムを実施しています。

園児を対象とした「リズム体操教室」や小学校低学年を対象とした「ジュニアスポーツ教室」では、「楽しいから好きになる、好きになるから上手になる」という基本理念のもと、様々な運動遊びを通して、子どもたちの豊かな能力を育みます。年二回の運動能力測定では、ほとんどの項目で全国平均値を上回る成果が得られています。

一般向けには、健康づくりを目的に簡単にできるエアロビクス体操やストレッチ、さらに、レクリエーションを取り入れた「健康運動教室」を開催しています。この教室では、「気軽に、楽しく、爽快に」を合言葉に、定期的な運動習慣を身につけていただけ

る新しいプログラムです。

この他、プールやトレーニングルームでの運動プログラムやスポーツレクリエーション活動も行っております。

今後も、皆さんのご意見やご要望を生かし、気軽に参加できるコミュニティ事業や健康づくり事業を展開したいと考えています。

消 防

地域住民で築く 災害に強い まちづくり

における取り組みとして、広域消防本部に防災行政無線の遠隔制御装置を設置しました。十二月からは、消防本部から直接、町防災行政無線で火災緊急放送を行うこととなり、より迅速で的確な火災連絡が行えるようになりました。

また、災害発生時の初期の活動体制の充実と、地域ぐるみの防災体制の確立をめざし、自主防災組織の設立を推進しておりますが、本年度においては、須賀区に自主防災組織が発足しました。町では、こうした住民の皆さんで組織する自主防災組織に対し、消火器やメガホン等防災資機材を交付してきました。

また、防災施設の整備として、日本宝くじ協会の事業を活用し、町を訪れた方々の災害発生時における避難誘導のための避難場所の位置図看板や避難誘導標識の設置を実施するほか、震災時において消防水利を確実に確保するための、実谷地先への耐震防火水槽の設置、また老朽化した防火用水の補修を計画的に進めていきます。

御宿町消防団は、一本部、八分団で構成され、二四五名の消防団員から組織されています。町民の皆さんの生命、財産を守るため、月二回の試運転や防災・消火に関する各種の訓練、また、火災の発生しやすい時期である歳末の夜警、花火大会や渚の火祭りなど町の実施するイベント等の警備などを行ってきました。

本年、町では、火災発生時

さて、皆さんのお宅の防災

無線戸別受信機には、災害等で避難される際、コンセントを抜いても町からの情報が聞けるよう、乾電池（単二形四本）が入っています。しかし、この電池を取り替えないといざというとき情報が聞けないばかりでなく、電池の液もれにより受信機を壊してしまふことがあります。一年に一度、大掃除のついでに乾電池を取り替えるよう心がけましょう。

水道事業

安全で 安定した給水を

平成十年度は、公営企業の原則に基づき効率的経営と安定給水を目標に、事業を推進してきました。

本年度は、住民の生活向上及び環境衛生に則した上水道施設の安定かつ安心して配水することを目的とした第三次拡張事業により配水管布設工事を推進し、防災対策のための耐震性の向上及び低水圧地域解消の管路整備を推進してきました。十二年三月には須賀・久保・新町・六軒町地区の配水管工事が完了します。

二月と十月には、降雨量の減少により渇水となり、ダムの貯水率が減少し利根川から取水している南房総広域水道企業団からの受水で対処しました。十月には給水量の七十%を企業団からの水で補いました。平常月は十三%が企業団の水で、御宿町の配水池において町水と混合し配水しています。

また、浄水場機器の点検及び整備を実施し、老朽及び消耗の著しい機器の交換を行い安定した運転が出来るよう努めました。

水質関係につきましても、御宿ダムを初め浄水などの水質検査を定期的に実施し安全で安定した給水に尽くしてきました。

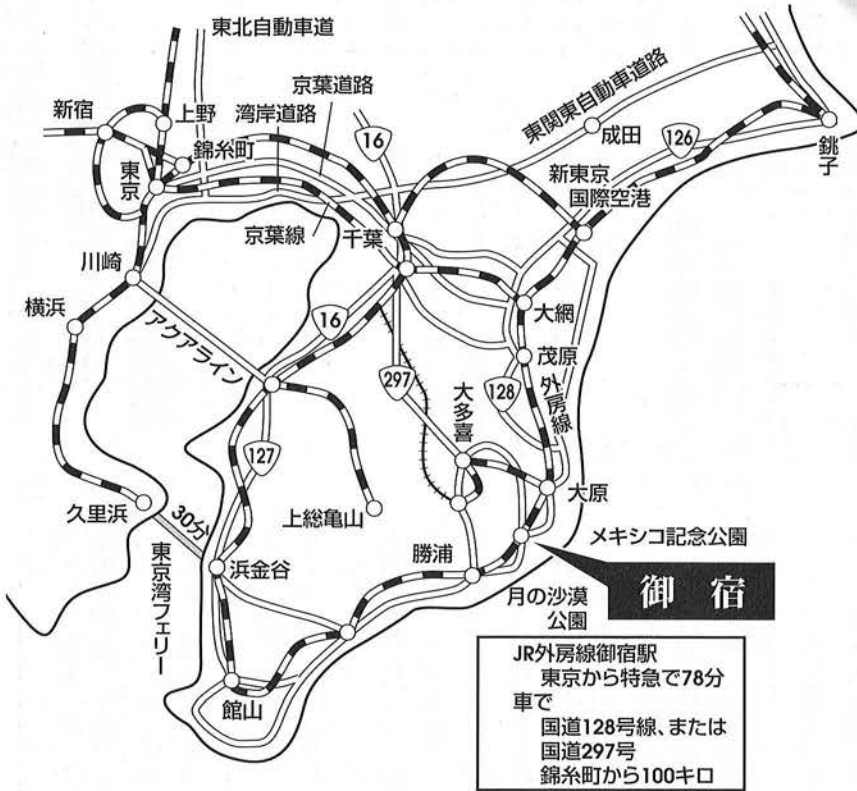
平成十一年十月末現在の給水戸数七十四戸増え三十三戸給水人口一〇二人増え七〇一七人となりました。

経済状況が低迷しているなかで、新規加入者及び年間総給水量も減少さみで収入面でも十・五%の減少です。

今後とも加入促進を図り、普及率の向上に努めていきます。

数字で見る おんじゅくのすがた

資料編

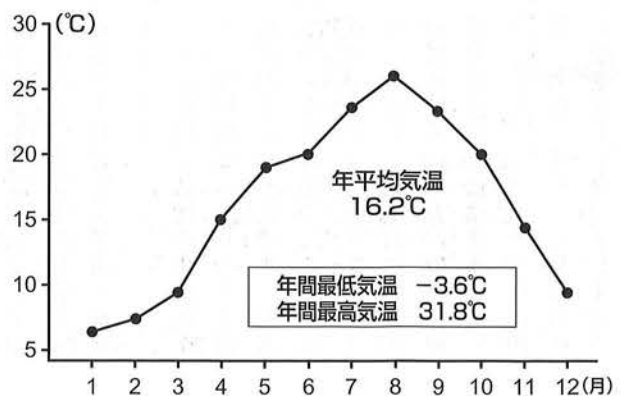


- 沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。
- 位置……御宿町は千葉県の東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。東経140度21分7秒。北緯35度11分19秒の地点にある。
- 面積……25.05km²

■年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
40	14.9℃	31.6℃	-4.8℃	1639.5mm
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
平成9年	16.2	30.8	-2.9	1328.5
〃 10年	16.2	31.8	-3.6	2027.5

■平成10年の平均気温



■平成10年の月別気温・降雨量

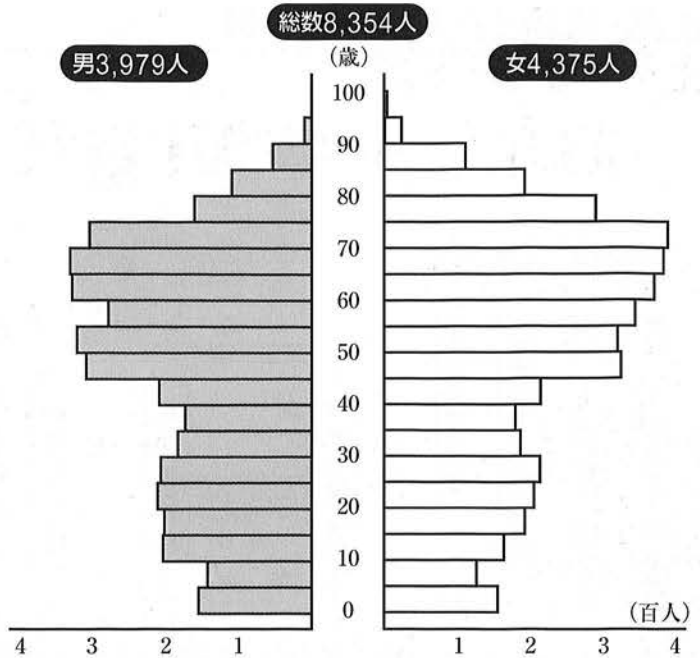
区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温		6.5	7.4	9.8	15.0	19.0	20.0	23.6	26.0	23.5	20.1	14.5	9.5℃
最高		15.3	19.1	19.4	23.2	25.6	27.8	29.5	31.8	30.0	27.4	24.0	18.3℃
最低		-3.6	-1.9	0.7	4.0	11.0	12.9	16.5	20.1	18.3	12.5	5.2	2.9℃
降雨量		206.5	243.5	166.0	243.5	157.0	298.0	209.0	57.5	195.0	160.5	28.5	62.5mm

■行政区別世帯数と人口

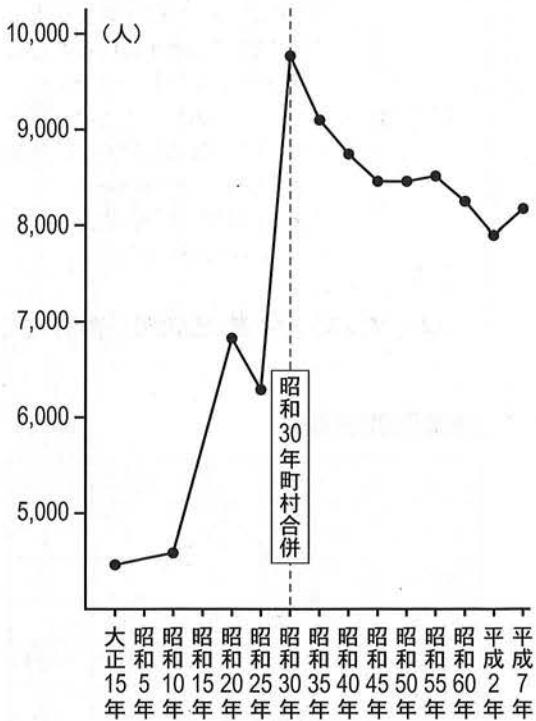
(H11.12.1)

区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	357	434	448	882
浜	262	364	399	763
高 山 田	96	137	150	287
久 保	466	559	666	1,225
新 町	478	609	695	1,304
六 軒 町	236	316	317	633
岩 和 田	458	681	724	1,405
実谷七本	144	242	251	493
上 布 施	227	341	361	702
御 宿 台	357	296	364	660
合 計	3,081	3,979	4,375	8,354

■5歳階級別人口



■人口の動き (国勢調査)



■人口の推移

年 次	世帯数	人 口			1世帯平均人員	人口密度人/km ²
		総 数	男	女		
大正15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330
平成 2	2,469	7,939	3,763	4,176	3.2	317
7	2,659	8,129	3,850	4,279	3.0	326

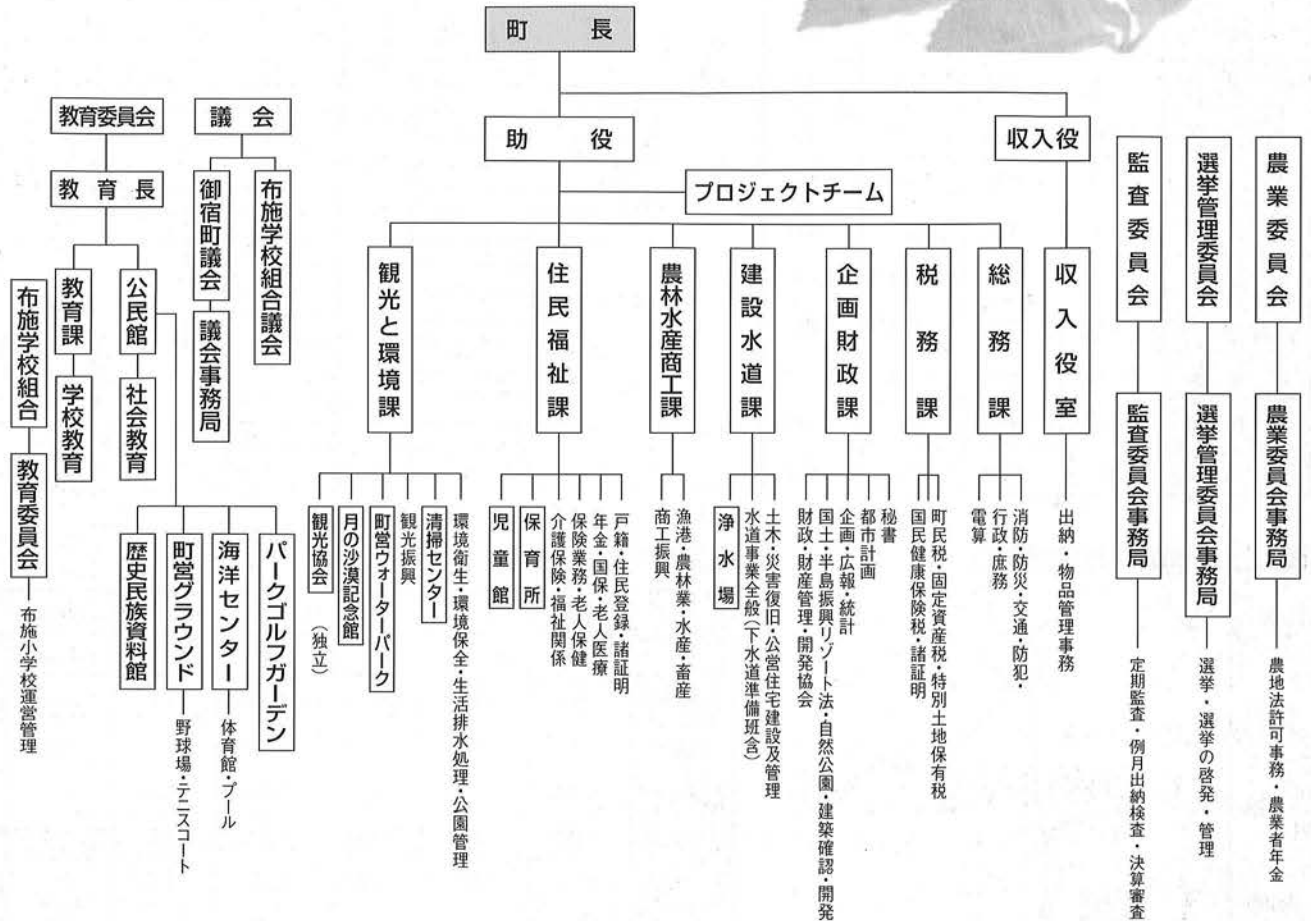
■人口動態

(H10.1.1~H10.12.31)

年 度	自 然 動 態						社 会 動 態		
	出生	死亡	自然増減 出生・死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減
昭和40年	132	91	41	19	254	9	221	353	▲132
50	114	94	20	9	208	13	322	379	▲ 57
60	60	81	△21	4	45	8	319	351	▲ 32
平成 8年	44	82	△38	4	32	10	305	351	▲ 46
9	49	89	△40	0	36	14	366	341	25
10	56	137	△81	0	41	13	364	321	43



機構・組織（行政・議会）図
平成11年4月1日現在



■ 議 会

- 議員定数14人(法定数22人)
- 常任委員会
 - 総務常任委員会 (4)
 - 産業建設常任委員会 (5)
 - 教育民生常任委員会 (4) ()内委員数

■課別職員数

(H11.12.1)

課室名	職員数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	11	8	3
企画財政課	11	9	2
農林水産商工課	5	5	0
税務課	8	5	3
建設水道課	10	8	2
観光と環境課	12	11	1
住民福祉課	16	5	11
議会事務局	3	2	1
教育委員会	4	3	1
公民館	6	5	1
保育所	18	0	18
調理場	6	0	6
合 計	112	62	50
社会福祉協議会	7	3	4

■議会の開催状況

区分 年次	定例会				臨時会				請陳件	願情数
	回数	会期	町長提案 出議案	議員提案 出議案	回数	会期	町長提案 出議案	議員提案 出議案		
2	4	10	45	5	5	5	13	0	8	
3	4	10	56	3	5	5	8	0	6	
4	4	11	53	6	1	1	2	0	1	
5	4	11	44	8	2	2	2	0	2	
6	4	10	55	7	4	4	7	0	16	
7	4	10	39	5	2	2	13	0	10	
8	4	11	42	6	1	1	3	0	23	
9	4	11	38	10	1	1	3	0	26	
10	4	6	40	3	0	0	0	0	10	

■歴代議長（町村合併後）

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野 要	昭和30.3.31	昭和32.9.30
浅野 航海	" 32.10.1	" 34.9.30
新井 清治	" 34.10.1	" 40.9.30
関 龍雄	" 40.10.1	" 44.9.30
中村 喜一	" 44.10.11	" 48.10.31
江沢 富士松	" 48.12.4	" 50.9.30
岩崎 栄一郎	" 50.10.1	" 54.9.30
石田 行雄	" 54.10.1	" 56.9.30
井上 泰爾	" 56.10.1	" 58.9.30
井上 浩一	" 58.10.1	" 60.3.12
白鳥 時雄	" 60.4.16	" 62.9.30
関野 正治	" 62.10.1	平成元年9.21
佐藤 高二	平成元年9.21	" 3.9.30
君塚 秀雄	" 3.10.1	" 5.9.21
岡村 甲純	" 5.9.21	" 7.9.30
鶴岡 清二	" 7.10.1	" 9.9.18
貝塚 貞利	" 9.9.18	" 10.9.17
君塚 亮一	" 10.9.17	" 10.9.30
貝塚 嘉軼	" 11.10.7	在任中

■歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
町長職務 (執行者)	大地 重直	昭和30.3.31	昭和30.5.15
1	井上文吉	" 30.5.16	" 42.5.14
2	岩井敏夫	" 42.5.15	" 54.5.14
3	高梨秀治	" 54.5.15	" 62.5.14
4	滝口栄蔵	" 62.5.15	平成 6.1.25
5	伊藤治昌	平成 6.3.13	" 10.3.12
6	加藤 長	" 10.3.13	在任中

■歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和30.10.18	昭和 38.10.17
2	岩井敏夫	" 39.1.10	" 42.4.17
3	佐藤清司	" 42.12.20	" 45.10.31
4	浅野興典	" 47.4.1	" 54.5.14
5	池田覚道	" 55.3.1	" 62.5.14
6	大谷良司	" 62.6.15	平成 7.6.14
7	加藤 長	平成 7.6.15	" 9.11.15
8	関 邦昭	平成10.7.1	在任中

■投票区別有権者数

(11年9月現在)

区分	地区	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,655	1,224	1,431
第2投票区	須賀・浜・高山田	1,609	773	836
第3投票区	岩和田	1,153	547	606
第4投票区	上布施	586	277	309
第5投票区	実谷・七本	417	198	219
第6投票区	御宿台	612	272	340
総数		7,032	3,291	3,741

■歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和29.2.13	昭和30.10.17
2	佐藤清司	" 30.10.18	" 42.12.19
3	浅野興典	" 42.12.20	" 47.3.31
4	和田正美	" 47.4.1	" 54.5.14
5	岩瀬 剛	" 54.7.1	" 62.5.14
6	吉田庸二	" 62.6.15	平成11.6.14
7	五十嵐 義昭	平成11.6.15	在任中

■最近の選挙における投票状況

選挙名	執行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
参議院議員 "	H 4.8.29	6,675	3,103	3,572	3,148	1,479	1,651	47.16	48.24	46.22
県知事 "	H 5.3.14	6,683	3,113	3,570	3,249	1,500	1,749	48.62	48.19	48.99
衆議院議員 "	H 5.7.18	6,757	3,150	3,607	4,739	2,189	2,550	70.13	69.49	70.70
町長 "	H 6.3.13	6,762	3,156	3,606	5,921	2,719	3,202	87.56	86.15	88.80
参議院議員 "	H 7.7.23	6,901	3,228	3,673	3,279	1,545	1,734	47.51	47.86	47.21
町議会議員 "	H 7.9.24	6,899	3,228	3,671	6,218	2,885	3,333	90.13	89.37	90.79
小選挙区選出議員選挙	H 8.10.20	7,003	3,265	3,738	4,412	2,039	2,373	63.00	62.45	63.48
比例代表区 "	"	7,003	3,265	3,738	4,409	2,037	2,372	62.96	62.39	63.46
最高裁国民審査	"	7,003	3,265	3,738	4,319	1,994	2,325	61.67	61.07	62.20
県知事選挙	H 9.3.16	6,935	3,242	3,693	3,268	1,496	1,772	47.12	46.14	47.98
県議会議員 "	H 11.4.11	6,949	3,249	3,700	4,373	2,055	2,318	62.93	63.25	62.65
町議会議員 "	H 11.9.19	7,011	3,283	3,728	6,045	2,823	3,222	86.22	85.99	86.43

※平成3年(4月)県議会議員選挙、(4月)町長選挙、(9月)町議会議員選挙、平成7年(4月)県議会議員選挙は無投票

■平成10年度一般会計歳入決算

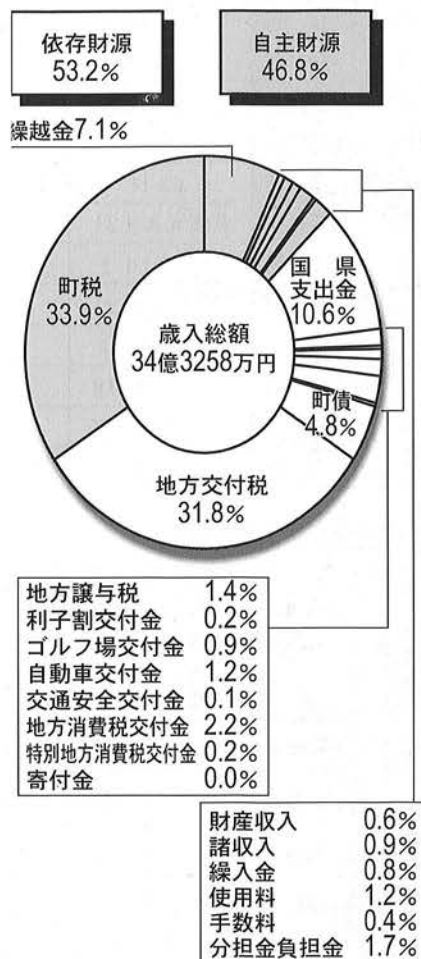
歳 入

(単位:千円 %)





年 度 科 目	平成10年度		平成9年度		比 較			前年度 増減率
	決算額①	構成比	決算額②	構成比	①-②	③	③/②	
1.町 税	1,165,276	33.9	1,252,524	34.7	▲87,248	▲7.0	0.5	
2.地方譲与税	46,435	1.4	59,069	1.6	▲12,634	▲21.4	▲19.8	
3.利子割交付金	5,673	0.2	7,143	0.2	▲1,470	▲20.6	▲25.7	
4.地方消費税交付金	74,124	2.2	18,421	0.5	55,703	302.4	皆増	
5.特別地方消費税交付金	5,320	0.2	4,520	0.1	800	17.7	89.0	
6.ゴルフ場利用税交付金	31,408	0.9	33,310	0.9	▲1,902	▲5.7	2.0	
7.自動車取得税交付金	41,892	1.2	48,230	1.3	▲6,338	▲13.1	15.7	
8.地方交付税	1,093,108	31.8	1,009,686	27.9	83,422	8.3	7.1	
内 普 通	991,478	28.9	921,730	25.5	69,748	7.6	7.8	
訳 特 別	101,630	3.0	87,956	2.4	13,674	15.5	0.9	
9.交通安全特別対策交付金	1,922	0.1	1,896	0.1	26	1.4	18.7	
10.分担金及び負担金	59,907	1.7	61,202	1.7	▲1,295	▲2.1	13.0	
11.使用料及手数料	55,265	1.6	54,827	1.5	438	0.8	0.3	
12.国庫支出金	197,476	5.8	231,694	6.4	▲34,218	▲14.8	22.7	
13.県 支 出 金	165,622	4.8	164,058	4.5	1,564	1.0	▲3.9	
14.財 産 収 入	21,989	0.6	49,555	1.4	▲27,566	▲55.6	▲21.3	
15.寄 附 金	1,100	0.0	1,920	0.1	▲820	▲42.7	104.3	
16.繰 入 金	26,078	0.8	1,672	0.0	24,406	1459.7	▲22.8	
17.繰 越 金	244,181	7.1	245,414	6.8	▲1,233	▲0.5	72.6	
18.諸 収 入	32,404	0.9	33,618	0.9	▲1,214	▲3.6	9.0	
19.町 債	163,400	4.8	335,400	9.3	▲172,000	▲51.3	58.5	
合 計	3,432,580	100.0	3,614,159	100.0	▲181,579	▲5.0	10.5	

財 政

■平成10年度一般会計
歳入財源別構成比



■平成10年度 住民生活関連経費の状況

<p>●教育費に係る 1人当たり(円)</p> <p>教育費 297,283円</p> <p><学校教育> 児童1人当たり 342,202円</p> <p><社会教育> 町民1人当たり 12,479円</p> 	<p>●生活環境整備に係る 町民1人当たり(円)</p> <p>23,738円</p> 
<p>●福祉事業に係る 町民1人当たり(円)</p> <p>68,805円</p> 	<p>●道路整備等に係る 町民1人当たり(円)</p> <p>31,090円</p> 

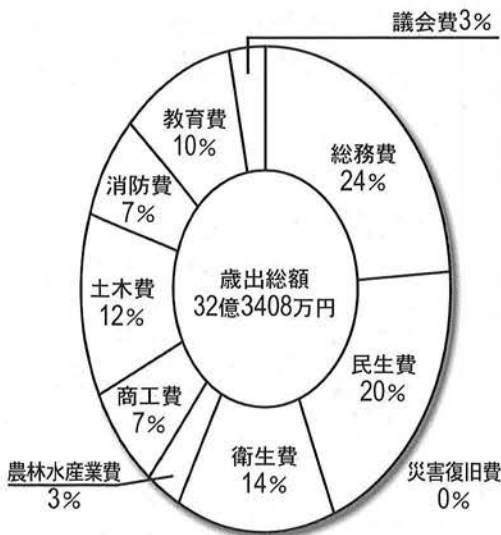
(滞納繰越金、国などから交付される
固定資産税を除く)

■町税負担状況の推移

区分 年度	町税総額 千円	一世帯当り 負担額 円	一人当り 負担額 円
40	27,435	13,266	3,112
45	57,725	26,962	6,892
50	187,905	83,886	21,920
55	398,434	165,218	45,823
60	613,882	246,242	72,537
平成2	903,012	336,317	108,365
7	1,182,192	403,464	139,752
8	1,275,097	433,559	152,378
9	1,290,690	429,943	153,800
10	1,228,690	400,747	147,254

■平成10年度一般会計

目的別歳出決算

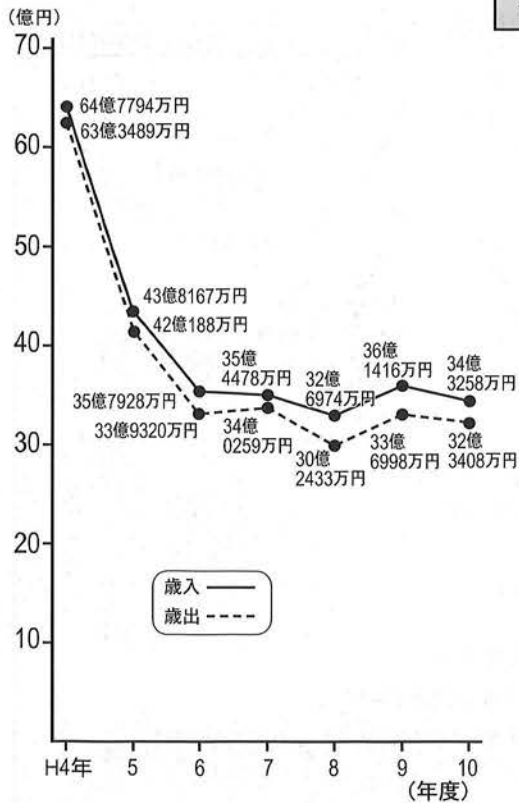


■平成10年度一般会計歳出決算

(単位: 千円 %)

科目	平成10年度		平成9年度		比較		前年度増減率 (%)
	決算額①	構成比 (%)	決算額②	構成比 (%)	①-② ③	③/②	
1. 議会費	88,588	2.7	94,891	2.8	▲6,303	▲6.6	2.2
2. 総務費	685,032	21.2	650,615	19.3	34,417	5.3	0.9
3. 民生費	574,798	17.8	570,054	16.9	4,744	0.8	17.8
4. 衛生費	392,637	12.1	521,221	15.5	▲128,584	▲24.7	57.5
5. 農林水産業費	88,030	2.7	89,391	2.7	▲1,361	▲1.5	△30.9
6. 商工費	190,861	5.9	171,891	5.1	18,970	11.0	29.7
7. 土木費	351,875	10.9	349,665	10.4	2,210	0.6	36.9
8. 消防費	191,422	5.9	179,872	5.3	11,550	6.4	5.6
9. 教育費	283,207	8.8	294,686	8.7	▲11,479	▲3.9	5.8
10. 災害復旧費	0	0.0	68,480	2.0	▲68,480	▲100.0	△50.8
11. 公債費	387,632	12.0	379,212	11.3	8,420	2.2	3.5
合計	3,234,082	100.0	3,369,978	100.0	▲135,896	▲4.0	11.4

■一般会計決算額の推移



■性質別歳出

科目	平成10年度		平成9年度		比較	
	決算額①	構成比 (%)	決算額②	構成比 (%)	①-② ③	③/②
1. 消費的経費						
(1) 人件費	878,811	27.2	872,216	25.9	6,595	0.8
(2) 物件費	685,941	21.2	595,820	17.7	90,121	15.1
(3) 維持補修費	8,417	0.3	12,687	0.4	▲4,270	▲33.7
(4) 扶助費	146,804	4.5	150,772	4.5	▲3,968	▲2.6
(5) 補助費等	480,310	14.9	483,831	14.4	▲3,521	▲0.7
2. 投資的経費						
(1) 普通建設事業費	480,575	14.9	555,923	16.5	▲75,348	▲13.6
(2) 災害復旧事業費	0	0.0	70,533	2.1	▲70,533	皆減
3. 公債費	387,493	12.0	379,062	11.2	8,431	2.2
4. 繰出金	93,856	2.9	102,064	3.0	▲8,208	▲8.0
5. その他 (積立金等)	71,875	2.1	147,070	4.3	▲75,195	▲51.1
合計	3,234,082	100.0	3,369,978	100.0	▲135,896	▲4.0

■財政の変遷

年度	当初予算額	決算			基準財政 需要額	基準財政 収入額	地方 交付税額	財政力指数
		歳入	歳出	差引残高				
3	4,641,891	4,773,109	4,591,935	181,174	1,623,468	864,033	841,958	0.493
4	6,402,248	6,477,940	6,334,892	143,048	1,787,485	969,759	942,084	0.523
5	4,052,000	4,381,667	4,201,878	179,789	2,017,532	1,038,088	1,059,961	0.530
6	3,338,000	3,579,279	3,393,203	186,076	1,956,160	993,790	1,041,161	0.522
7	3,160,000	3,544,779	3,402,589	142,190	1,894,741	1,030,544	936,052	0.522
8	2,965,000	3,269,740	3,024,326	245,414	1,956,958	1,101,691	942,423	0.563
9	3,017,000	3,614,159	3,369,978	244,181	2,064,783	1,141,199	1,009,686	0.553
10	3,030,000	3,432,580	3,234,082	198,498	2,115,575	1,145,229	1,093,108	0.541

■平成10年度会計別決算

(単位：円)

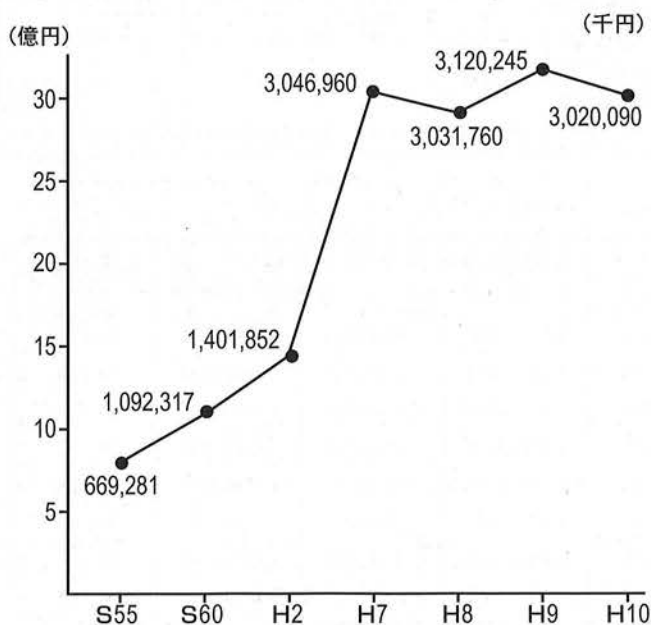
会 計	区 分	予 算 額	決 算 額
一 般 会 計	歳 入	3,440,335,150	3,432,579,976
	歳 出	3,440,335,150	3,234,082,249
国民健康保険 特別会計	歳 入	762,155,000	812,185,405
	歳 出	762,155,000	711,561,138
老人保健 特別会計	歳 入	977,195,000	976,801,415
	歳 出	977,195,000	972,503,437
総 合 計	歳 入	5,179,685,150	5,221,566,796
	歳 出	5,179,685,150	4,918,146,824

■水道事業会計決算

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 増 減
水道事業収益	194,064,000	189,579,671	△4,484,329
営業収益	175,727,000	171,424,721	△4,302,279
営業外収益	18,337,000	18,154,950	△182,050

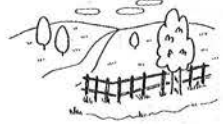

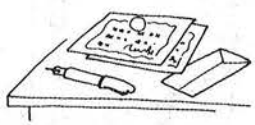
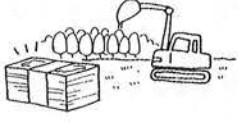
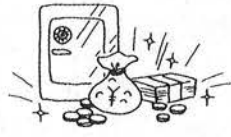
区 分	予 算 額	決 算 額	不用額
水道事業費用	217,577,000	210,633,669	6,943,331
営業費用	184,571,000	179,438,711	5,132,289
営業外費用	32,806,000	31,194,958	1,611,042
予 備 費	200,000	0	200,000

■町の借金



■町有財産

(H11.3.31)

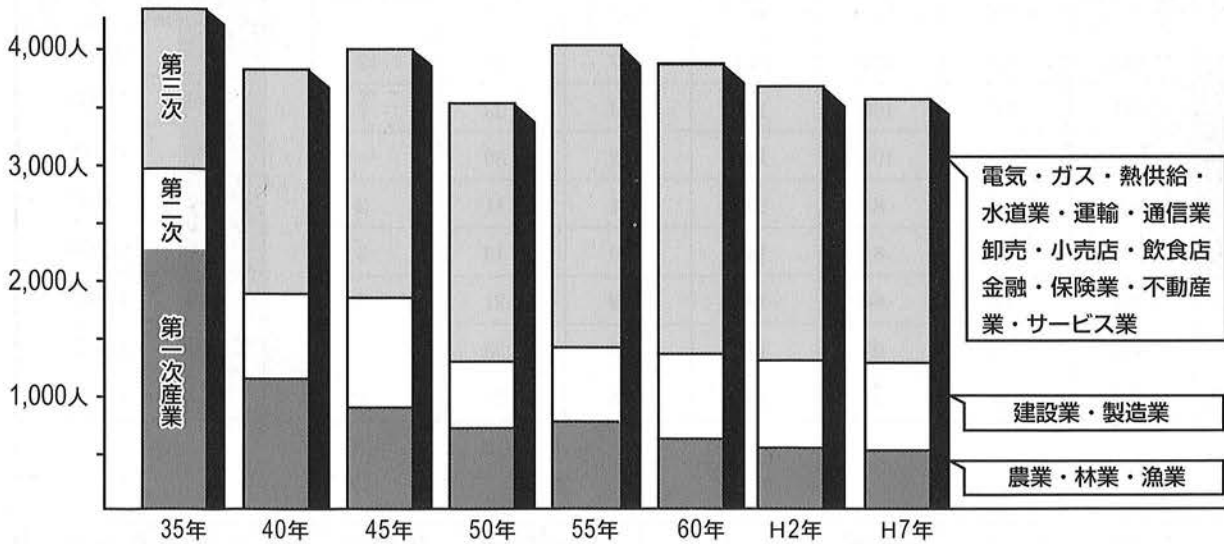
土 地 789,107㎡	
建 物 35,333㎡	
出資による権利 3,930万円	
土地開発基金 預 金 2,240万円 預託金 4,260万円	
財政調整基金 1億6,578万円	
減債基金	7,729万円
地域福祉基金	3,083万円
開発基金	172万円
国民年金印紙購入基金	600万円
し尿収集手数料収入証紙購入運用基金	0万円

産業

■産業別就業者数

区分		年度別		40年		45年		50年		55年		60年		平成2年		平成7年	
		種別	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	
第1次産業	農業、林業、狩猟業 水産、養殖業	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4	409	10.8	387	10.5		
第2次産業	鉱業、建設業、製造業	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1	1,228	32.4	1,065	28.9		
第3次産業	卸小売、金融、保険業、その他	1,415	37.0	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5	2,151	56.8	2,238	60.6		
計		3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0	3,788	100.0	3,693	100.0		

■産業別就業者数の推移



■所得者別 所得金額

(千円)

所得者区分	年次	5	6	7	8	9	10
給与所得者		7,421,010	7,646,823	7,733,194	7,618,646	7,669,702	7,758,262
営業所得者		666,111	513,848	492,309	488,243	439,912	459,446
農業所得者		13,377	9,518	23,402	5,579	11,998	5,743
その他事業所得者		378,967	400,022	450,289	349,887	372,536	333,938
その他の所得者		549,448	644,125	640,809	851,141	790,300	837,806
譲渡所得者		942,613	961,536	837,658	804,234	462,615	253,473
計		9,971,526	10,175,872	10,177,661	10,117,730	9,747,063	9,648,668



農業

(平成7年度国勢調査による)

■農家数の動き

(戸)

年 度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
昭和 35	745	135	284	326
40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
平成 2	340	31	16	293
平成 7	322	32	10	280

■農業機械所有台数

(台)

組 合	動力耕うん機・トラクター	自脱コンバイン	米乾燥機	麦用機	田植機
昭和50	398	3	305		141
55	478	113	322		210
60	501	164	311		254
平成 2	64 (乗用のみ)	200	263		247
7	83 (乗用のみ)	203	246		235

■経営規模別農家数の動き

(戸)

年 度	総 数	30未満(a)	30~50(a)	50~100(a)	100~150(a)	150以上(a)	例外規定
昭和 35	745	221	123	215	157	17	12
40	681	192	106	199	154	23	7
45	608	155	104	187	132	30	—
50	470	96	83	206	71	11	3
55	430	89	81	185	59	13	3
60	387	65	66	183	50	21	2
平成 2	340	39	69	146	56	28	2
7	322	46	57	133	58	26	2

■水稻収穫面積

(単位：アール)

年 度	水 稻
昭和 35	33,850
40	32,835
45	28,108
50	22,549
55	19,930
60	19,357
平成 2	16,727
7	15,506

■農家の推移

年度	農家数 (戸)	増 減		農 家 人 口 (戸)	増 減		一戸当 たり農 家人口 (人)	町 総 世 帯 数 (戸)	町 総 世 帯 数 に 対 する 農 家 率 (%)	町 総 人 口 (人)	町 総 人 口 に 対 する 農 家 率 (%)	経 営 耕 地 面 積			
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						農家数 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)
35	745	—	—	4,019	—	—	5.4	2,047	36.4	9,273	43.3	467	359	107	1
40	681	▲ 64	▲ 8.6	3,459	▲ 560	▲ 13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	449	355	91	3
45	608	▲ 73	▲ 10.7	2,882	▲ 577	▲ 16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	418	341	70	7
50	470	▲ 138	▲ 22.7	2,204	▲ 678	▲ 23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	300	247	46	7
55	430	▲ 40	▲ 8.5	1,941	▲ 263	▲ 11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	290	234	51	5
60	387	▲ 43	▲ 10.0	1,667	▲ 274	▲ 14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	283	226	51	6
2	340	▲ 47	▲ 12.1	1,413	▲ 254	▲ 15.2	4.2	2,679	12.7	8,337	16.9	282	217	60	4
7	322	▲ 18	▲ 5.9	1,310	▲ 103	▲ 7.3	4.1	2,659	12.1	8,129	16.1	249	208	37	42

漁業

■年次別組合水揚高

(単位：千円)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	8 年	9 年	10 年	8 年	9 年	10 年
魚 類	174,381	135,299	140,045	519,546	491,894	398,816
貝 類	10,305	12,289	13,713	21,709	37,442	31,301
計	184,686	147,588	153,758	541,255	529,336	430,117

■漁港施設 (平成10年)

項 目	御 宿	岩 和 田
漁		
けい船岸延長 (m)	485	759
外かく施設延長 (m)	685	1,021
最大入港トン数 (t)	10	10
港		
登録漁船隻数 (隻)	58	127
利用漁船隻数 (隻)	60	139

■おもな魚種別水揚量

(単位：トン)

魚 種 別	御 宿			岩 和 田		
	8 年	9 年	10 年	8 年	9 年	10 年
た い	8	10	3	2	1	2
わ ら さ	0	0	0	0	0	0
ひ ら め	4	3	4	24	28	25
ぶ り	0	0	0	80	176	150
い か	120	54	27	222	113	73
か つ お	72	106	79	211	253	182
ま ぐ ろ	4	0	15	27	35	27
あ わ び	1	1	1	2	4	4
さ ざ え	2	4	5	2	3	3
す ず き	1	1	2	2	2	7
と び う お	0	8	4	1	9	7
雑 魚	14	20	16	38	11	27
え び	2	2	3	9	8	9
計	228	211	159	620	643	516

■漁業協同組合の状況

(H11.3 現在)

組合名	御 宿		岩 和 田	
	平成10年	平成11年	平成10年	平成11年
正組合員	95	91	403	401
準組合員	66	66	40	42
合 計	161	157	443	443

■漁業種別水揚量

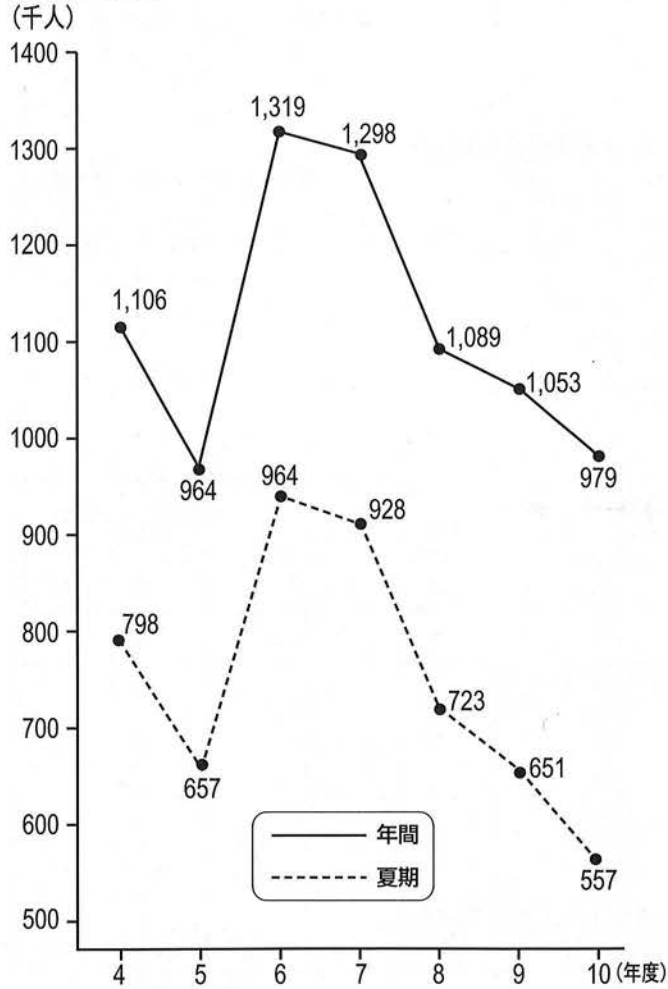
(単位：トン)

種 類	御 宿			岩 和 田		
	8 年	9 年	10 年	8 年	9 年	10 年
まき網	0	0	0	0	0	0
刺 網	5	12	3	89	185	133
い か 釣	120	54	27	222	113	73
その他の釣	99	137	119	297	338	303
採 貝	2	5	5	4	7	7
採 藻	0	0	0	0	0	0
その他の漁業	2	3	0	8	0	0
総 計	228	211	159	620	643	516

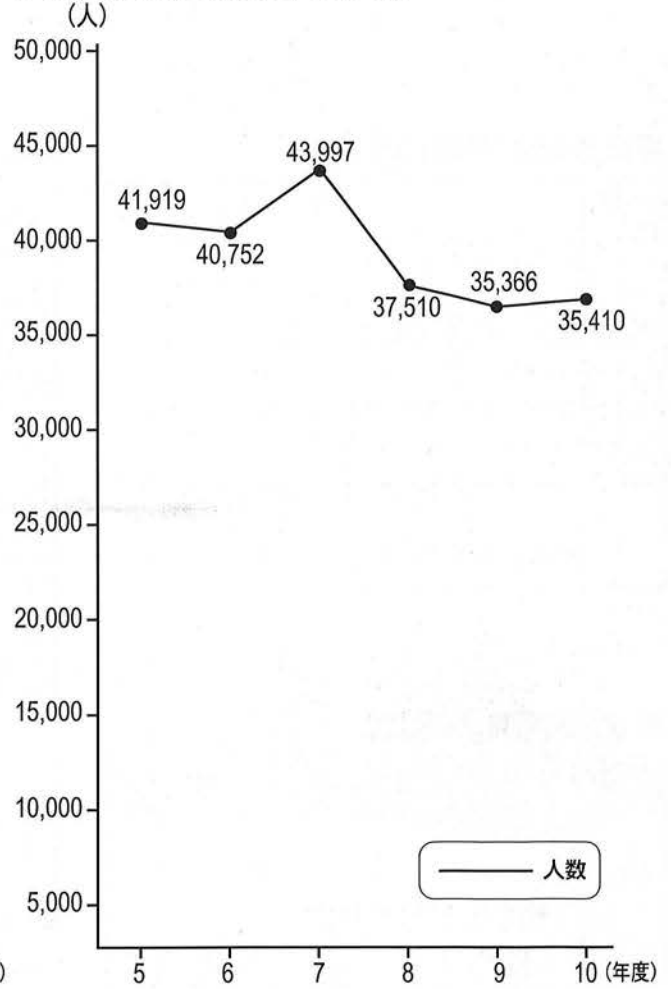


(H11.4.1)

■観光客数



■月の沙漠記念館の入場者数



■観光施設及び入込数

区 分	年 度	昭 和				平 成			
		45 年	50 年	55 年	60 年	7 年	8 年	9 年	10 年
観光客数 (人)	夏期	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	928,000	723,200	651,000	557,850
	年間	1,310,000	311,000	1,041,000	1,659,000	1,298,000	1,089,000	1,053,000	979,000
旅 館 (軒)		20	21	17	17	21	21	22	22
民 宿 (軒)		200	250	270	244	215	194	185	170
海 の 家 (軒)		33	32	32	31	26	26	23	23
駐 車 台 数 (有 料)		12,512	15,151	18,018	31,346	36,170	33,730	31,415	25,006
観 光 収 入 (推 計 千 円)		369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	4,260,350	3,609,250	3,530,400	3,330,850
町 の 観 光 投 入 額 (千 円)		56,000	12,504	20,968	30,434	49,844	52,097	87,638	78,053



商工業

■工業（製造業）の状況 (H10.12.31)

年	事業所数	従業者数	年間製造品 出荷額
昭和60	35 戸	489 人	百万円 2,259
平成2	28	376	2,054
5	25	302	1,590
8	20	214	1,457
11	18	192	1,738

■商業の状況 (H9年度)

産業中分類	項目	商店数	従業者数	年間商品 販売額	売場面積
卸売業計		9 店	42 人	百万円 1,343	-
繊維、衣服、身の 回り品小売業		11	38	362	1,164
飲食料品小売業		52	192	3,397	2,651
自動車、自転車、 小売業		4	12	96	197
家具、建具、じゅう 器小売業		13	36	385	546
その他小売業		36	164	2,394	1,587
小売業計		116	442	6,634	6,145
計		125	484	7,977	6,145



交通

■自動車保有台数

車種	御宿町
普通乗用車	740
小型乗用車	1,845
貨物自動車	237
貨客兼用車	172
バス	13
軽自動車 (4輪)	1,310
特殊用途車	27
計	4,344

■交通事故発生件数の推移

(H11.4.1)

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
3		55	0	84
4		56	0	84
5		56	3	76
6		44	1	78
7		30	3	46
8		37	0	45
9		35	0	50
10		41	2	51

建設

(H11.4.1)

■建築届出件数の推移

年	区分	専用住宅	旅館店舗簡易宿泊所	共同住宅	併用住宅	工場倉庫	その他	計
元		101	6	4	6	4	12	133
2		153	7	0	11	5	12	188
3		176	8	3	4	1	12	204
4		91	7	0	15	5	9	127
5		68	3	0	9	4	4	88
6		99	3	1	2	2	10	117
7		90	3	2	1	2	6	104
8		102	2	2	1	5	5	117
9		76	4	3	2	4	3	92
10		70	1	4	1	0	6	82

■林道の状況

項目		本数	数値
林業施設	林道延長(m)		
	市町村	13	12,378m
	国	—	—
	その他	—	—
	計	13	12,378m

■道路の状況

			単位	町道	県道	国道	計	
路実	線延長	数	本	1,461	4	1	1,466	
		長	m	253,304	11,233	3,939	268,476	
内訳	改良済延長	改未	m	76,463	11,203	3,939	91,605	
		改良	m	176,841	30	—	176,871	
種類内訳	橋梁延長	橋	m	91ヵ所 538	8ヵ所 117	1ヵ所 14	669	
		梁	m	7ヵ所 413	1ヵ所 11	5ヵ所 351	775	
幅員別内訳	改良済	13m以上	m	34	11	—	45	
		5.5m以上	m	19,248	8,254	3,717	31,219	
		5.5m未満	m	57,181	2,939	222	60,342	
		未改良	m	—	—	—	—	
内訳	未改良	3.5m以上	m	—	—	—	—	
		3.5m以上	m	—	—	—	—	
		3.5m未満	m	176,841	30	—	176,871	
		計	m	—	—	—	—	
自動車交通不能			m	127,188	—	—	127,188	
路面別内訳	未舗装道		m	157,279	—	—	157,279	
	舗装道	セメント系	m	4,465	85	351	4,901	
			高級	m	—	7,892	3,588	11,480
		アスファルト系	簡易	m	96,560	3,257	—	99,817
			計	m	96,025	11,234	3,939	111,198

■町道の内訳

項目	数値
実延長 (m)	253,304
路面面積 (m ²)	828,336
改良済延長 (m)	76,463
舗装済延長 (m)	96,025
自動車交通不能道延長 (m)	127,188
歩道延長 (m)	9,020
防護柵延長 (m)	7,083
歩道橋 (m)	2ヵ所 27
市町村道と鉄道との交差箇所数	7
うち立体交差箇所数	5

実延長の内訳	1.5m～5.5m (m)	234,022
	5.5m以上 (m)	19,282
	計	253,304

■消火栓の設置場所

No.	消火栓所在地	地区	No.	消火栓所在地	地区	No.	消火栓所在地	地区
1	鶴岡 実	須賀	39	松崎 勤(太子堂面)	久保	77	専修大学セミナーハウス	岩和田
2	伊藤 治助	"	40	スナック樹里入口	"	78	木原 政吉	"
3	神定 建設倉庫	"	41	B&G海洋センター	"	79	波月荘入口	"
4	本吉 勇	"	42	遠藤 智子	"	80	吉田 征夫	七本
5	佐伯 進	"	43	ウエムラカメラ	"	81	吉野 茂男	"
6	渡辺 治男	"	44	秋葉 正雄	新町	82	吉田 要	"
7	須賀三ッ角	"	45	滝口 松蔵	"	83	君塚 芳男	実谷
8	滝口 清次郎	"	46	伊藤 勘助	"	84	君塚 俊成	"
9	日高 五郎	"	47	新井 勝	"	85	実谷上公会堂	"
10	中央海岸駐車場料金所	"	48	鶴岡 石材店	"	86	吉野 茂夫	"
11	三上 信雄	"	49	水谷 印刷	"	87	君塚 静男	"
12	露崎 英三	"	50	理容 つばき	"	88	吉野 栄	"
13	鶴岡 國雄	"	51	熊谷喜六(天の守)	"	89	吉野 竹芳	"
14	須賀多目的広場裏	"	52	岩瀬 齒科	"	90	吉野 こう	"
15	日旗 神社前	"	53	鈴木 巖	"	91	吉野 健夫	"
16	元湯 温泉	浜	54	井上 邦彦	"	92	石井 芳清	上布施
17	式田 みつ	"	55	松下 弘秀	六軒町	93	吉野 進一	"
18	大谷 福蔵	"	56	幸保 常次	"	94	元大地 病院	"
19	渡辺 松一	"	57	板垣 雅則	"	95	三輪篤子(グリーンランド)	"
20	松本 君江	"	58	鈴木 輝一	"	96	布施 駐在所	"
21	米本良司海岸店	"	59	金井 三男	"	97	布施 小学校	"
22	浜海岸案内所	"	60	清水 禮司	"	98	吉野 泰成	"
23	はまや 商店	"	61	六軒町補生堂	"	99	石井 勇	"
24	浜 天王台	"	62	立石 明男	"	100	石井 博一	"
25	小池春夫入口	高山田	63	堺川生活排水処理施設	"	101	井上 儀一	"
26	嶋田 利定	"	64	埋田 勝弘	岩和田	102	石井 惣次	"
27	高山田区民館入口	"	65	藤井 昭	"	103	佐藤 良雄	"
28	峰岸 俊長	"	66	岩井 敏夫	"	104	吉野 菊彦	"
29	鈴木 祐雄	"	67	小川 征	"	105	佐藤 テルエ	"
30	岩瀬 信泰	"	68	畑中 いち	"	106	新井 久栄	"
31	君塚 磐雄	久保	69	水上 定雄	"	107	佐藤 勝巳	"
32	大地 寿美子	"	70	入宿町内宿	"	108	新井 隆	"
33	御宿 保育所前	"	71	大野 元芳	"	109	佐藤 一男	"
34	天津 英男	"	72	水野 八郎	"	110	大地 和美	"
35	白鳥 重和	"	73	高梨 孝	"	111	佐藤 高二	"
36	御宿中踏切寄道路	"	74	氏原 忠	"	112	渡辺 洋一	"
37	斉藤利夫(南畑田)	"	75	嶋村 敏夫	"			
38	オタフク綿	"	76	江沢 利一	"			



防災

■消防の施設状況

(H11.1.10)

消防ポンプ車	7台	防火水そう	85カ所
水そう付ポンプ車	1台	消火栓	112カ台
小型ポンプ車	2台	防災無線戸別受信機	2,069世帯
指揮広報車	1台	〃固定系システム	27カ台

■消防団

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1	3	15	8	9	43	166	245

■火災発生件数

年次	火災発生件数				火災発生件数 (m ²)			損害額 (千円)
	総数	建物	山林原野	その他	建物	山林その他		
7	5	5	0	0	103	0	6,612	
8	1	0	0	1	0	0	0	
9	4	0	2	2	0	300	0	
10	4	1	0	3	0	0	0	

■災害時の避難場所

年次	所在地	電話
御宿小学校	久保2085	68-2009
御宿中学校	新町68	68-2101
岩和田小学校	岩和田1075	68-2254
岩和田青年館	岩和田788	68-4392
サンドスキー場 (一時避難場所)	岩和田1354	
布施小学校	上布施909	68-2437
実谷区民館	実谷586	68-5970
八坂神社 (一時避難場所)	須賀525	
御宿高校	久保1551	68-2911
B&G海洋センター 体育館	久保1135	68-4143

保健

■胸部検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
8	2,507	1,531	61.1%
9	2,594	1,525	58.8%
10	2,545	1,495	58.7%
11	2,676	1,558	58.2%

■胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
8	1,543	675	43.7%
9	1,629	622	38.2%
10	1,558	696	44.7%
11	1,620	593	36.6%

■子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
8	1,630	367	22.5%
9	1,690	360	21.3%
10	1,641	339	20.7%
11	1,695	339	20.0%

■基本健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
8	1,350	609	45.1%
9	1,358	623	45.9%
10	1,309	672	51.3%
11	1,389	576	41.5%

■乳がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
8	1,700	377	22.2%
9	1,771	389	22.0%
10	1,721	383	22.3%
11	1,756	370	21.1%

■大腸がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
8	1,266	901	71.2%
9	1,363	972	71.3%
10	1,400	979	69.9%
11	1,554	920	59.2%

国保・年金・老保

■国民健康保険加入者及び給付金状況

種別 年度	世帯数	加入者数(人)				医療費(町支弁額)(千円)			
		一 般	退 職	国保老人	合 計	一 般	退 職	国保老人	合 計
7	1,914	2,707	461	1,067	4,235	306,860	83,624	491,526	882,010
8	1,939	2,615	449	1,156	4,220	300,041	102,792	578,167	981,000
9	1,994	2,572	432	1,235	4,239	300,260	108,415	639,398	1,048,073
10	2,056	2,523	460	1,339	4,322	307,706	115,711	705,752	1,129,169

■国民年金受給者の状況

種 別	平成9年度		平成10年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
老 齢 基 礎 年 金	1,004	601,074	1,117	688,856
老 齢 年 金	845	361,489	797	347,436
通 算 老 齢 年 金	195	43,179	194	43,408
障 害 基 礎 年 金	36	29,849	37	31,180
裁 定 替 障 害 福 祉 年 金	66	61,663	70	66,159
旧 国 民 年 金 障 害 保 険	32	29,457	29	27,383
遺 族 基 礎 年 金	19	13,602	20	15,212
寡 婦 年 金	1	521	11	5,614
合 計	2,198	1,140,834	2,275	1,225,248
福 祉 年 金	58	15,212	53	13,741

■老人保健加入者及び給付金状況

年 度	加入者数(人)	医療費(町支弁額)(千円)
7	1,473	732,372
8	1,575	793,643
9	1,668	893,902
10	1,751	953,714

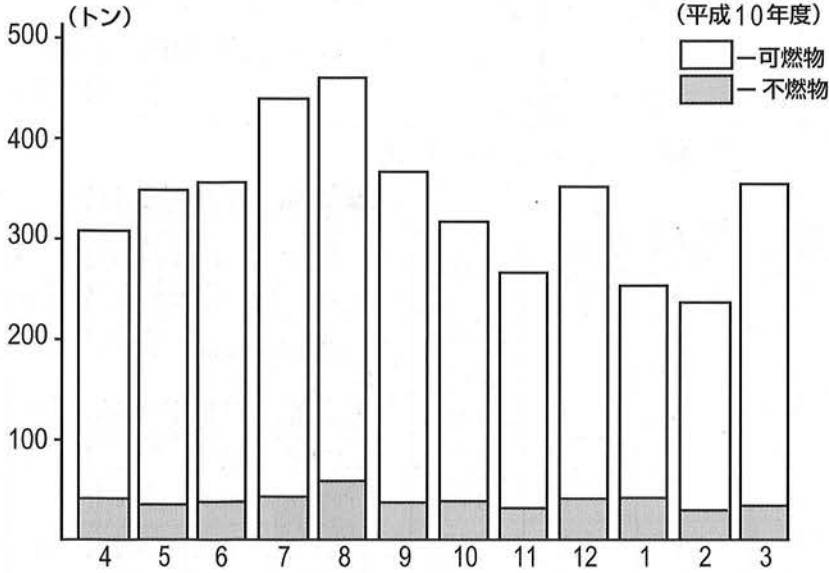
■ゴミ収集状況

(トン)

年度	区分	可燃物	不燃物	合計	焼却日数
7		3,504	1,835	5,339	163
8		3,748	786	4,534	171
9		3,812	618	4,430	179
10		4,058	568	4,626	187



■月別ゴミ収集量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
可燃物	309	346	355	437	462	359	318	271	350	256	244	351
不燃物	42	33	35	44	62	39	41	31	41	43	30	34

※不燃物月別ゴミ収集量 合計 475t+粗大93t=10年度不燃物 568t

■し尿

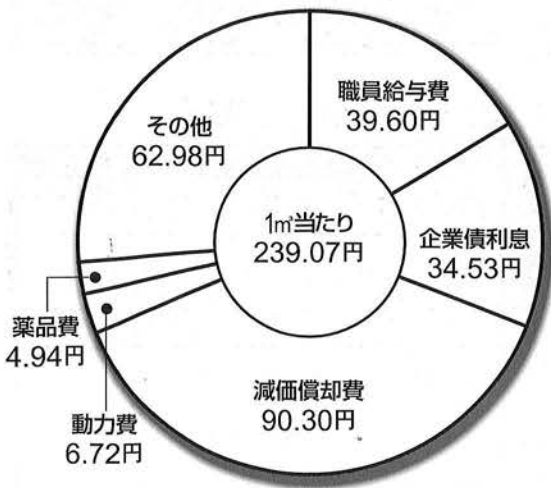
	平成9年度	平成10年度
1. 処理計画人口 (人)	8,369	8,387
①非水洗化人口 (人)	3,015	2,999
(イ)計画収集人口 (人)	2,944	2,932
(ロ)自家処理人口 (人)	71	67
②水洗化人口 (人) (浄化槽人口)	5,354	5,388
2. し尿収集の状況 (kl)	4,201	4,090
①し尿 (kl)	1,844	1,893
②浄化槽汚泥 (kl)	2,357	2,197
収集職員数 (人)	4	3
パキユーム車 (人)	2	1



■水道ダイジェスト

(平成10年度決算から)

区分	単位	10年度	9年度	増▲減
年度末給水人口	人	6,965	6,880	85
年度末給水戸数	戸	3,087	3,023	64
年間取水量	m ³	1,097,418	1,123,002	▲25,584
年間受水量	m ³	110,903	64,105	46,798
年間給水量	m ³	906,642	925,734	▲19,092
年間使用量	m ³	870,799	884,872	▲14,073
1ヵ月平均給水量	m ³	75,554	77,145	▲1,591
1ヵ月平均使用量	m ³	72,567	73,739	▲1,172
1日最大給水量	m ³	5,257	5,427	▲170
1日最大使用量	m ³	5,049	5,188	▲139
1戸1ヵ月平均使用量	m ³	23.5	24.4	▲0.9
1人1日平均使用量	ℓ	343	352	▲10
月平均給水収益	千円	13,555	13,700	▲145
月平均人件費	千円	2,874	2,687	187
月平均収入額	千円	15,121	16,711	▲1,590
月平均支出額	千円	17,545	17,290	255
月平均電力料金	円	487,479	519,111	▲31,632
月平均薬品費	円	358,288	275,511	82,777
月平均支払利息	円	2,505,580	2,520,408	▲14,828
月平均償還元費	円	1,897,738	1,776,793	120,945
給水原価	円・銭	239.07	226.56	12.51
資本費	円・銭	141.55	140.02	1.53
施設利用率	%	40.72	41.57	▲0.85



■1m³の水をつくる費用構成

■町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

学校名	児童生徒数	学級数	職員数	事務 栄養 職員	調理員
御宿中	237	8	18	1	3
御宿小	237	10	17	2	3
岩和田小	73	7	12	1	
布施小	88	6	10	1	
計	635	31	57	5	6



<学校基本調査による>
(H11.5.1)

■中学校卒業生進路状況

卒業年	高校進学		就職		各種学校		計
	進学者数	%	就業者数	%	人数	%	
昭和 50	128	88	10	7	8	5	146
55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
平成 2	109	93	8	7	-	-	117
7	113	100	0	0	0	0	113
8	89	100	0	0	0	0	89
9	81	99	1	1	0	0	82
10	68	96	1	1	2	3	71

■児童・生徒数の推移

区分 年度	児童生徒数		
	総数	小学校	中学校
昭和40	1,828	1,153	675
50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
平成 2	954	597	357
8	672	449	243
9	670	427	243
10	638	404	234

■社会教育施設利用状況

年度	公民館		資料館		海洋センター体育館		同プール		パークゴルフ場	
	一日平均	年間利用者数	一日平均	年間利用者数	一日平均	年間利用者数	一日平均	年間利用者数	一日平均	年間利用者数
6	91.2	26,907	7.7	2,826	103	30,212	102	3,991		
7	100.2	29,667	10.0	2,947	97.5	28,667	99.4	5,763		
8	71.5	21,175	12.3	3,565	101.4	29,838	90.2	5,326		
9	89.8	26,656	12.3	3,663	122.8	36,583	87.1	4,968		
10	91.1	26,678	15.3	4,440	106.4	31,923	86.2	5,523	26.9	8,422

■文化

名称	所在地	施設・内容
公民館	久保2200	調理実習室、和室、茶室、大ホール、大・中会議室、クラブ集会室、絵画工作室、視聴覚室、図書室(蔵書約8,600冊)
歴史民俗資料館	久保2200	(御宿と人) (御宿とくらし) (御宿と教え)のコーナー 展示300展、五倫文庫、70カ国の教科書32,500冊
月の沙漠記念館	六軒町 505-1	1F 企画展示室 2F 加藤まさを展示室 映像展示室 野外ステージ

■スポーツ

名称	所在地	施設・内容
町営野球場	久保1135	野球場、テニスコート3面
ゲートボール場	〃	ゲートボール場3面
須賀多目的広場	須賀514-1	ゲートボール、ソフトボールなど
海洋センター	久保1135-1	体育館、会議室
海洋センタープール	〃	25mプール1、幼児用1
御宿台公園テニス場	御宿台53番地	テニスコート6面
町営ウォータerpark	須賀2208	プール、スライダー
御宿パークゴルフガーデン	御宿台805-804	パークゴルフ



姉妹都市交流として「サマーキャンプ」を実施しました。



姉妹都市

【姉妹都市】
アカプルコ市（メキシコ）
昭和53年8月姉妹都市協定締結

【姉妹都市】
野沢温泉村（長野県）
平成9年2月姉妹都市協定締結

【姉妹館】
御宿町歴史民俗資料館
ボウボウアタマ博物館（ドイツ・フランクフルト市）
平成3年11月姉妹館提携締結

指定文化財

区分	番号	名 称	所在地・指定地・伝承地	所有者・又は・伝承地	指 定 年 月 日
国指定	1	ミヤコタナゴ	御宿町	御 宿 町	昭和49年
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田626	御 宿 町	昭和41.12.2
"	2	紙本著色大田喜藩陣列之図	" 久保2,200	御 宿 町	" 61.1.14
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	" 久保1,916	岩 瀬 禎 之	" 49.3.27
"	2	木造阿弥陀如来坐像	" 浜572-1	妙 音 寺	" 49.3.27
"	3	亀甲地双鶴鏡	" "	"	" "
"	4	白銅鏡	" "	"	" "
"	5	木造大日如来坐像	" 上布施1,474	真 常 寺	" "
"	6	木造如意輪観音坐像	" "	"	" "
"	7	十王堂縁起	" 六軒町	十 王 堂	" "
"	8	最明寺夫婦銀杏	" 須賀668	最 明 寺	" 53.3.27
"	9	旧役場大蘇鉄	" " 160	御 宿 町	" "
"	10	双盤	" " 668	最 明 寺	" 54.6.27
"	11	小幡神楽囃子	" 上布施小幡	保 存 会	" 57.6.29
"	12	高山田神楽囃子	" 高山田区	保 存 会	" 57.9.28
"	13	千人塚供養塔	" 新町字千人塚	妙 昌 寺	" 59.1.11
"	14	閻魔胎内像・十王像	" 六軒町	十 王 堂	" "
"	15	伊勢参宮絵馬	" 上布施	八 幡 神 社	" "
"	16	真常寺石塔	" 上布施1,474	真 常 寺	" "
"	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍立像	" 六軒町	十 王 堂	" 60.2.12
"	18	木造阿弥陀如来坐像	" 浜618-1	観 音 寺	" "
"	19	木造傳祐上人坐像	" 須賀668	最 明 寺	" "
"	20	旧布施村絵図	" 実谷	実 谷 区	" 62.2.19
"	21	千箇寺参御首題帳	" 上布施1,800	吉 野 信	" "
"	22	孝女竹永志保の碑	" 上布施827	上布施区新宿	" 62.10.27
"	23	月夜見神社の宝塔	" 久保2,200	三 夜 様	平成4.1.30
"	24	貝海女具一式	" 久保2,200	御 宿 町	" 5.2.25
"	25	ハワイ出稼ぎ渡航関係	" 上布施3,280	吉 田 好 武	" 5.2.25
"	26	八坂神社旧御輿廻り飾り	" 実谷	実 谷 区	" 7.5.25
"	27	久保区行屋跡の宝塔	" 久保2,200	久 保 区	" 7.5.25
"	28	薬師堂の摩崖佛	" 岩和田	宝 蔵 寺	" 8.2.26
"	29	堂坂薬師	" 浜堂ノ上	浜 区 岩ヶ山	" 9.1.27
"	30	堂坂薬師手洗い鉢	" 浜堂ノ上	"	" 9.1.27
"	31	獅子頭、象鼻（波の伊八）	" 須賀668	最 明 寺	" 9.1.27

御宿町暮らしのダイジェスト

(H11.10.1)

<p>人口密度</p>  <p>1km²に333人</p>	<p>家族</p>  <p>1世帯に2.74人</p>	<p>転入</p>  <p>1日に1人</p>	<p>転出</p>  <p>1.1日1人</p>
<p>結婚</p>  <p>9日に1組</p>	<p>離婚</p>  <p>30日に1組</p>	<p>出生</p>  <p>6.5日に1人</p>	<p>死亡</p>  <p>3日に1人</p>
<p>火災</p>  <p>4件</p>	<p>交通事故</p>  <p>8.9日に1件</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1人1日平均343ℓ</p>	<p>ゴミ</p>  <p>1日平均1.27トン</p>
<p>町職員</p>  <p>町民70人に1人</p>	<p>教員</p>  <p>小学生10人に1人 中学生13人に1人 (11年5月1日現在)</p>	<p>商店</p>  <p>25世帯に1店</p>	<p>町税</p>  <p>1人当たりの負担 147,254円</p>
<p>自動車</p>  <p>1世帯に1.92台</p>	<p>子どもの数</p>  <p>4.85世帯に1人</p>	<p>救急車出動</p>  <p>1.06日に1件</p>	<p>町の台所</p>  <p>一般会計からの支出額 町民1人当たり387,129円</p>



御宿の歌

御宿ブルース

作詩 古谷玲児
作曲 八州秀章

唄 二すずらん姉妹

一、あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしや 紺がすり

忘れられよか 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町

二、星の数ほど 寄せては返す
色もとどり 人の波

光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海の町 海の町

三、月のあかりの 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草

行こか砂丘へ 戻るか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

回想譜

作詩 今城靖児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

一、星みれば はるかに杳く
雲みれば つきせぬ想い

去りゆきし 君に詰わねど
御宿の ああ 海の恋しさ

二、風吹けば 風もさびしや
虫鳴けば 虫もわびしや

ただひとり 山荘にあれば
堪えがたく ああ 涙ながるる

三、朝には あしたの祈り
夕には ゆうべの願い

嫁ぎゆく 妹にのみ
いまはまだ ああ 幸をこころのみ

房州御宿音頭

作詩 石川澤月
作曲 藤井凡大

房州 御宿宝の庫よ

ハソリヤ ドウシタ ドウシタ

海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金

ハソリヤ ヤッサイ
ヤッサイ ドントネ

房州御宿 網代の浜は

銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜

潮を黒潮 流れて巻いて
風は汐風 風は汐風 恋の風

あんな男を梶子にもって
ぬれて苦労が

ぬれて苦労が してみたい

お前や水底 わしや風の中

つなは一筋 つなは一筋 血が通う

板子一枚といはせぬが
ぬれるお前が

ぬれるお前が いとおいしい

房州御宿旅立つ朝は

雨も降らぬに 袖しぼる
雨も降らぬに 袖しぼる

舟は帆まかせ 帆は風まかせ
わたしゃお前の わたしゃ

お前のつなまかせ

御宿離し

作詩・作曲 加藤まさを
編曲 吉野達弥

唄 中里このえ

一、ドンとドンとドンと男波が踊る
踊る男波に抱かれて歌う

女波いとしや月夜の晩は
御宿離して浮かれ出す

二、山にや名物メキシコタワー
浜の砂丘にや王子と姫が

月の沙漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿

三、磯の華かよ岩和田の海女は
浮いて沈んで浮いて

浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に

四、昼は砂丘に浜屋顔が
夜は砂丘に宵待草が

粋な浜風花から花に
若い二人の燃える頬に

五、椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウロク 磯ハン無しの

可愛い人魚が蠟燭岩で
忘れちゃおえねえ また来てね

御宿のうた

：晴れた日は
作詩・作曲 真木順子

一、晴れた日は 海へ行こう
白い砂浜がつづく

ほくたちに ほほえむよ
風もキラキラキラ
きれいな町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

二、雨の日は 耳をすまそう
波の音が聞こえるよ

母さんの子守唄 トロトロ
ねむりたい
やさしい町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

三、言葉には ならないけど
胸の奥がしずむ時

メキシコの丘に立てば
心がなごむ
あたたかい町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

四、月の夜は 海をみつめ
君は何を想うの

背に乗って歩きたいね
ラクダにゆらゆらと
夢のある町だね 御宿は
月の沙漠の町 御宿は



月の沙漠

作詩 加藤まさを
作曲 佐々木すくる

一、月の沙漠を はるはると
旅のらくだが 行きました
金と銀との くらおいて
二つなごんで 行きました

二、金のくらはは 銀のかめ
銀のくらはは 金のかめ
二つのかめは それぞれに
ひもでむすんで ありました

三、先のくらはは 王子さま
あこのくらはは お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白い上衣を 着てました

四、広い沙漠を ひとすじに
ふたりはどごへ 行くのでしょう
おぼろにけふる 月の夜を
ついのらくたば とほとほと
砂丘を越えて 行きました
だまって越えて 行きました

役場関係

〒299-5192 市外局番0470

御宿町役場	須賀1522	☎(68)2511
公民館	久保2200	☎(68)2947
歴史民俗資料館	"	☎(68)4311
月の沙漠記念館	六軒町505-1	☎(68)6389
御宿町児童館	新町419	☎(68)4542
岩和田児童館	岩和田788	☎(68)4392
社会福祉協議会	久保1135-1	☎(68)6725
地域福祉センター	"	☎(68)6725
海洋センター	"	☎(68)4143
清掃センター	久保1041	☎(68)4613
浄水場	実谷519	☎(68)4855
町営運動場(管理棟)	久保1135	☎(68)4794
御宿台公園テニス場	御宿台52	☎(68)6959
御宿パークゴルフガーデン	御宿台805-804	☎(68)4148
町営ウォーターパーク	須賀2208	☎(68)3923

学校施設

教育委員会	須賀1522	☎(68)2511
御宿保育所	久保2180	☎(68)2459
岩和田保育園	岩和田926	☎(68)2944
御宿小学校	久保2085	☎(68)2009
岩和田小学校	岩和田1703	☎(68)2254
布施小学校	上布施909	☎(68)2437

御宿中学校	新町68	☎(68)2101
県立御宿高等学校	久保1511	☎(68)2911

警察

駅前駐在所	須賀188	☎(68)2100
六軒町駐在所	六軒町488	☎(68)2719
布施駐在所	上布施860-3	☎(68)4499

その他

御宿駅	須賀191	☎(68)2053
御宿郵便局	須賀449	☎(68)2871
布施郵便局	上布施1400	☎(68)2870
御宿町漁業協同組合	浜2164	☎(68)2611
岩和田漁業協同組合	岩和田945	☎(68)2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀167	☎(68)2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田1171-3	☎(68)3923
御宿町観光協会	須賀1522	☎(68)2414
御宿町体育協会	久保2200	☎(68)2947
御宿町商工会	新町417-22	☎(68)2818
御宿町商店振興会	"	☎(68)2818
御宿町民宿組合	須賀191	☎(68)2325
御宿町旅館組合	"	☎(68)4419